

---

# 社会調査による 生活再建過程モニタリング指標の開発

— 阪神・淡路大震災から10年間の復興のようす —

---

論文集 P. 415-424

○木村 玲欧(名古屋大学環境学研究科)  
林 春男、田村 圭子、立木 茂雄、  
野田 隆、矢守 克也、黒宮 亜希子、浦田 康幸

2006年11月24日 地域安全学会

---

## 研究の目的

---

- 阪神・淡路大震災から10年を迎えた2005年1月時点での被災者の生活再建のようすを明らかにし、10年間の被災者の生活再建過程を解明する
- 今後の大規模災害における、生活再建課題7要素を中心とした生活再建過程モニタリング指標を開発・提案する

## 4度の大規模無作為抽出による社会調査

	1999年調査	2001年調査	2003年調査	2005年調査
調査対象地域	震度7及び都市ガス供給停止地域	震度7及び都市ガス供給停止地域＋神戸市北区西区	震度7及び都市ガス供給停止地域＋神戸市北区西区	震度7及び都市ガス供給停止地域＋神戸市北区西区
調査対象者	20歳以上の世帯主	20歳以上の男女	20歳以上の男女	20歳以上の男女
サンプリング法	層化2段抽出法を用いて住民基本台帳から抽出	層化2段抽出法を用いて住民基本台帳から抽出	層化2段抽出法を用いて住民基本台帳から抽出	層化2段抽出法を用いて住民基本台帳から抽出
調査対象者	2500名	3300名	3300名	3300名
有効回答数	623名	1203名	1203名	1028名
有効回答率	24.9%	36.5%	36.5%	31.2%
調査方法	郵送自記入・郵送回収方式	郵送自記入・郵送回収方式	郵送自記入・郵送回収方式	郵送自記入・郵送回収方式

1) 災害対応・復興施策の基礎資料提供（兵庫県・神戸市との共同事業として実施(神戸市は1999年調査のみ)）

2) 複数回調査によって指標の妥当性・安定性を検証

## これまでの成果(地域安全学会論文集)

### 1) 避難者の避難行動とすまい再建過程

木村他(1999、2000、2001)

### 2) 2001年時点での生活再建状況・課題と生活復興感指標の開発

田村他(2001)

### 3) 2003年時点での生活再建状況と被災者の心理分析

矢守他(2003)

### 4) 長期的な生活再建過程の構造方程式による因果関係分析

立木他(2004)

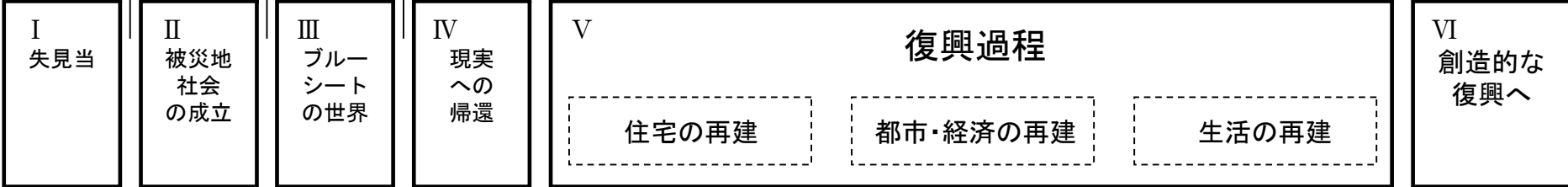
### 5) 時系列的解明を目指した復興カレンダーの開発

木村他(2004)

### 6) パネルデータからみる被災者個々人の復興様相

黒宮他(2005、2006)

Disaster 10 hours 100 hours 1000 hours 4年(1999.3) 6年(2001.1) 8年(2003.1) 10年(2005.1) Time



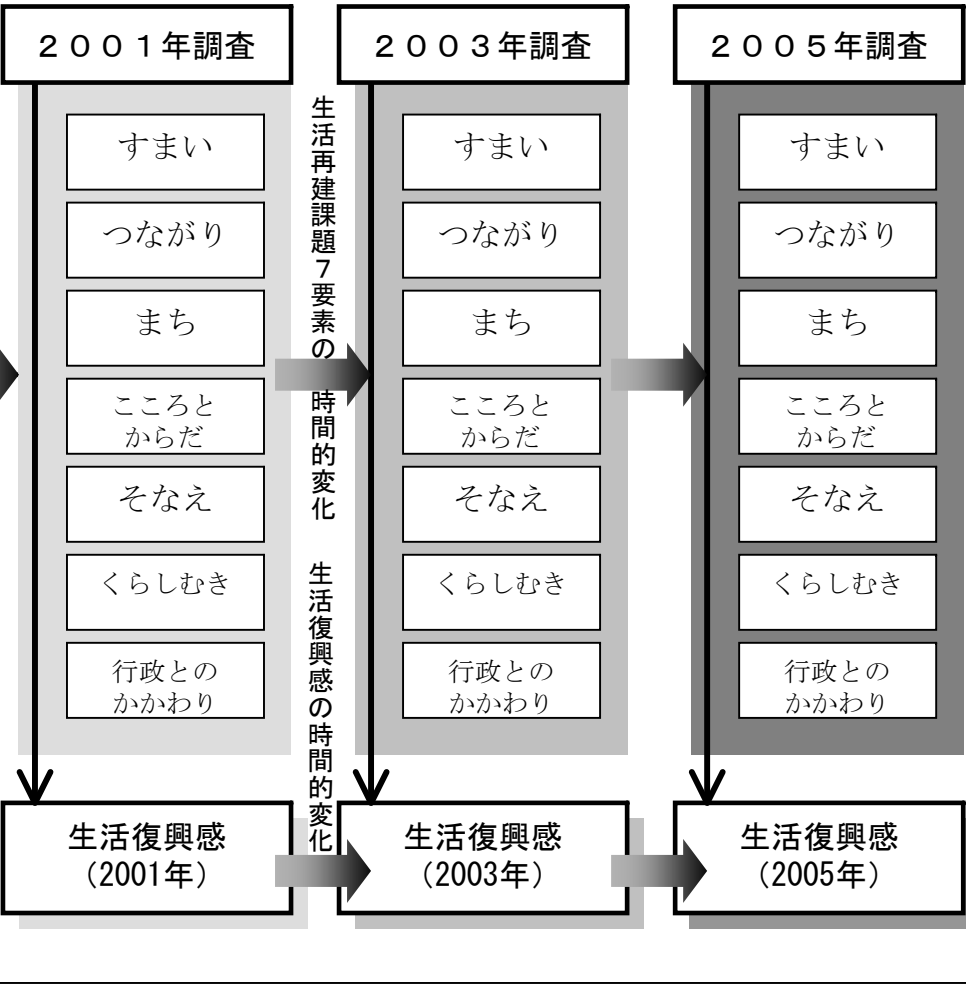
属性

- 性別
- 年齢
- 家族
- 職業
- 住所

被害の実態

- 人的被害
- 家屋被害
- 家財被害
- 被害総額
- 家計・仕事への影響

生活再建課題7要素



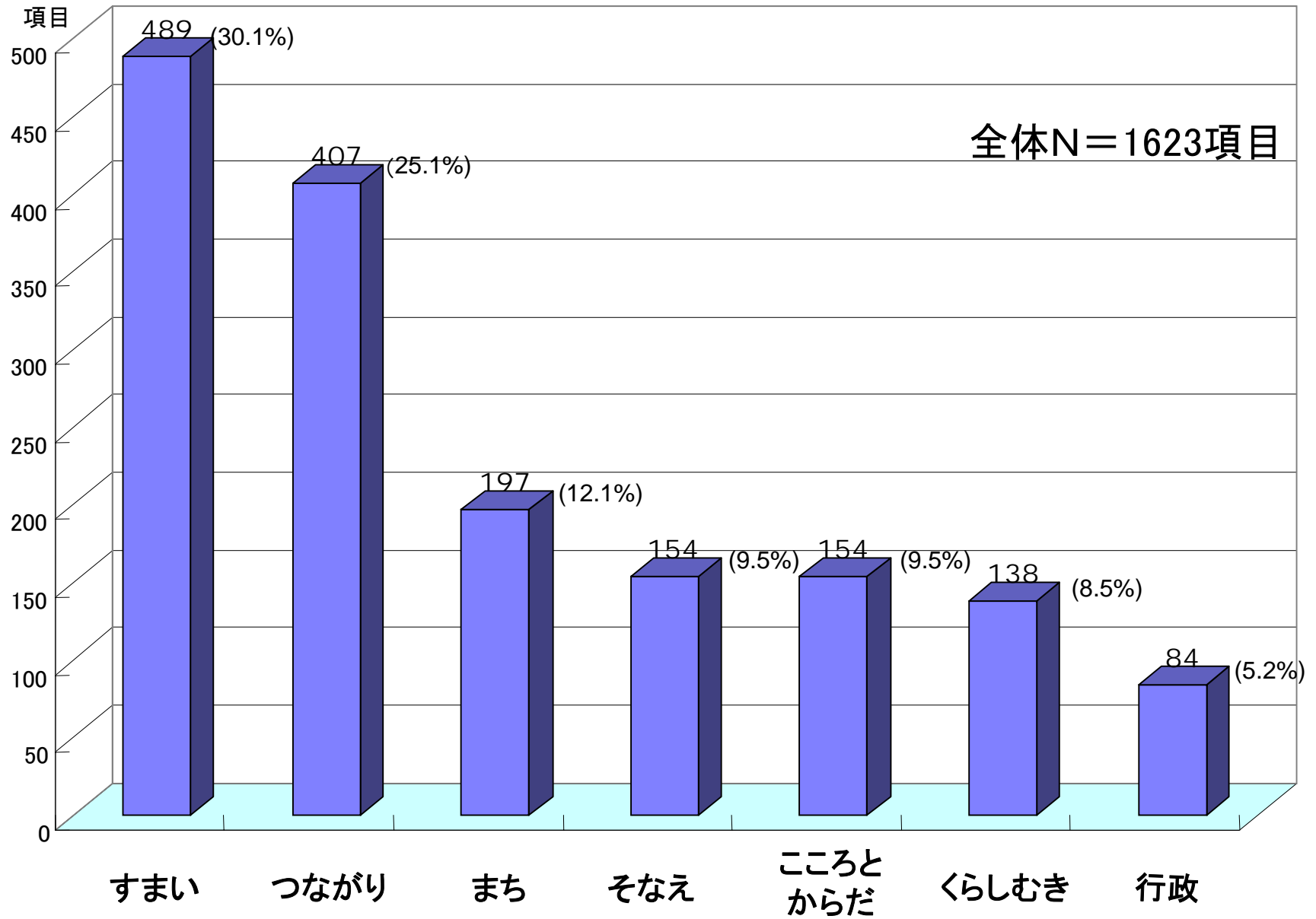
被災体験の意味づけ

生活復興モデルの構築

# 生活再建課題7要素

## 神戸市民が考える復興の構成要素

田村圭子・立木茂雄・林春男(2000)



カテゴリ	小カテゴリ	ID	質問項目	99阪神	01阪神	03阪神	05阪神	05中越	05中越	09-10中越	09-10中越	
個人属性	性別	1	性別	28	1	1	1	1	1		男性、女性	
	年齢	2	年齢(実数)	28	1	1	1	1	1		実数記入	
	家族人数	3	現在家族人数・構成	35	5	2	12	1	4		調査時点における家族人数もあるため、実数記入	
	職業	4	震災時家族人数・構成	4	2	6	5	4	5			
	職業	5	現在職業	29	25	23	19	20	29			
	職業	6	震災時職業	23	25	24	20	20	20			
	年収	7	世帯年収	27	22	18	22	22	22		05が最終	
	住所	8	現在住所	8	13	10	2	2	2		郵便番号1住所記入	
	住所	9	住所移転の有無	8	14	11	3	3	3		現在住所と同じところ、違うところ	
	居住年数	10	居住年数(実数)	11	36	40	11	3	3		郵便番号1住所記入	
	居住年数	11	居住年数	36	40							
	居住形態・構造	12	居住形態・構造	30	12	16	15		18			
	居住形態・構造	13	震災時居住形態・構造	17	10	15	12		21			
	人的被害	14	人的被害(4カテ)	4	3	6	5	10			なし、軽傷、重傷、死亡	
	物的被害	15	家具被害(4カテ)	18	5	8	7	24	11		「いずれも」を明示して聞く	
	物的被害	16	被災度判定チャート	14	5	8	14	16	12		修正版を入れる、従来の家屋被害も必ず入れる	
	被災状況	被害構造被害	17	被害構造被害		7						地域性はあつた
		地震被害	18	地震被害					17	13		
田舎・養老施設被害		19	田舎・養老施設被害						14			
家財被害(4カテ)		20	家財被害(4カテ)	18	6	9	8	16	15		なし、軽い、半分、全部、不明	
家財被害(4カテ)		21	家財被害(4カテ)						16	16		
ライフライン被害		22	ライフライン被害	20	7	10	9	19	19		最終的に4カテ	
ライフライン被害		23	電気、電話、水道、ガス、トイレ、交通機関			11	12		17			
仕事への影響		24	仕事への影響	22	26	25	21		31			
仕事への影響		25	仕事への影響	24	28	26	22		32			
仕事への影響		26	仕事への影響	49	27	28	23	24			05が最終	
被災後の行動	被災後の行動	27	被災後の行動								現在が震災時かを明確にして聞く	
	被災後の行動	28	被災後の行動									
	被災後の行動	29	被災後の行動									
	被災後の行動	30	被災後の行動									
	被災後の行動	31	被災後の行動									
	被災後の行動	32	被災後の行動									
	被災後の行動	33	被災後の行動									
	被災後の行動	34	被災後の行動									
	被災後の行動	35	被災後の行動									
	被災後の行動	36	被災後の行動									
生活環境	生活環境	37	生活環境									
	生活環境	38	生活環境									
	生活環境	39	生活環境									
	生活環境	40	生活環境									
	生活環境	41	生活環境									
	生活環境	42	生活環境									
	生活環境	43	生活環境									
	生活環境	44	生活環境									
	生活環境	45	生活環境									
	生活環境	46	生活環境									
経済・生活	経済・生活	47	経済・生活									
	経済・生活	48	経済・生活									
	経済・生活	49	経済・生活									
	経済・生活	50	経済・生活									
	経済・生活	51	経済・生活									
	経済・生活	52	経済・生活									
	経済・生活	53	経済・生活									
	経済・生活	54	経済・生活									
	経済・生活	55	経済・生活									
	経済・生活	56	経済・生活									
社会関係	社会関係	57	社会関係									
	社会関係	58	社会関係									
	社会関係	59	社会関係									
	社会関係	60	社会関係									
	社会関係	61	社会関係									
	社会関係	62	社会関係									
	社会関係	63	社会関係									
	社会関係	64	社会関係									
	社会関係	65	社会関係									
	社会関係	66	社会関係									
健康・福祉	健康・福祉	67	健康・福祉									
	健康・福祉	68	健康・福祉									
	健康・福祉	69	健康・福祉									
	健康・福祉	70	健康・福祉									
	健康・福祉	71	健康・福祉									
	健康・福祉	72	健康・福祉									
	健康・福祉	73	健康・福祉									
	健康・福祉	74	健康・福祉									
	健康・福祉	75	健康・福祉									
	健康・福祉	76	健康・福祉									
家族関係	家族関係	77	家族関係									
	家族関係	78	家族関係									
	家族関係	79	家族関係									
	家族関係	80	家族関係									
	家族関係	81	家族関係									
	家族関係	82	家族関係									
	家族関係	83	家族関係									
	家族関係	84	家族関係									
	家族関係	85	家族関係									
	家族関係	86	家族関係									
地域関係	地域関係	87	地域関係									
	地域関係	88	地域関係									
	地域関係	89	地域関係									
	地域関係	90	地域関係									
	地域関係	91	地域関係									
	地域関係	92	地域関係									
	地域関係	93	地域関係									
	地域関係	94	地域関係									
	地域関係	95	地域関係									
	地域関係	96	地域関係									
その他	その他	97	その他									
	その他	98	その他									
	その他	99	その他									
	その他	100	その他									

# 指標一覧

この中から、妥当性・安定性の高いものを指標として採用している

すまい



# 場所の移動と住居形態の変化

問 12. 震災の時、お住まいになっていたのは、

- |                 |               |                   |
|-----------------|---------------|-------------------|
| 1. 持地持家         | 5. 公団・公社賃貸住宅  | 8. 借家             |
| 2. 借地持家         | 6. 県営・市営・町営住宅 | 9. 民間賃貸アパート・マンション |
| 3. 公団・公社分譲マンション | 7. 社宅・寮       | 10. その他 ( )       |
| 4. 民間分譲マンション    |               |                   |

48

付問 1: そのお住まいの構造は、

- 一戸建て
- 棟割式住宅 (二戸一や三戸一・長屋など)
- 木造集合住宅→あなたの住居は ( ) 階
- 鉄筋コンクリート・鉄骨集合住宅→あなたの住居は ( ) 階

49  
50 51

付問 2:

- 震災当時、お住まいだった住宅の築年数(当時)をお答え下さい。  
築 ( ) 年

52 53

問 7. 震災当日 (10月23日) に、あなたが行った場所にすべて○、夜、もっとも長い時間を過ごした場所に1つだけ◎をつけてください。

被災地内の

- 自宅
- 別居している(親・子ども)の家
- 親せきの家
- 友人の家
- 近所の家
- 避難所
- 公共の場所
- 車の中・テントなど
- 車庫・駐車場など
- 病院・福祉施設
- ホテル・旅館
- 職場
- その他 ( )

被災地外の

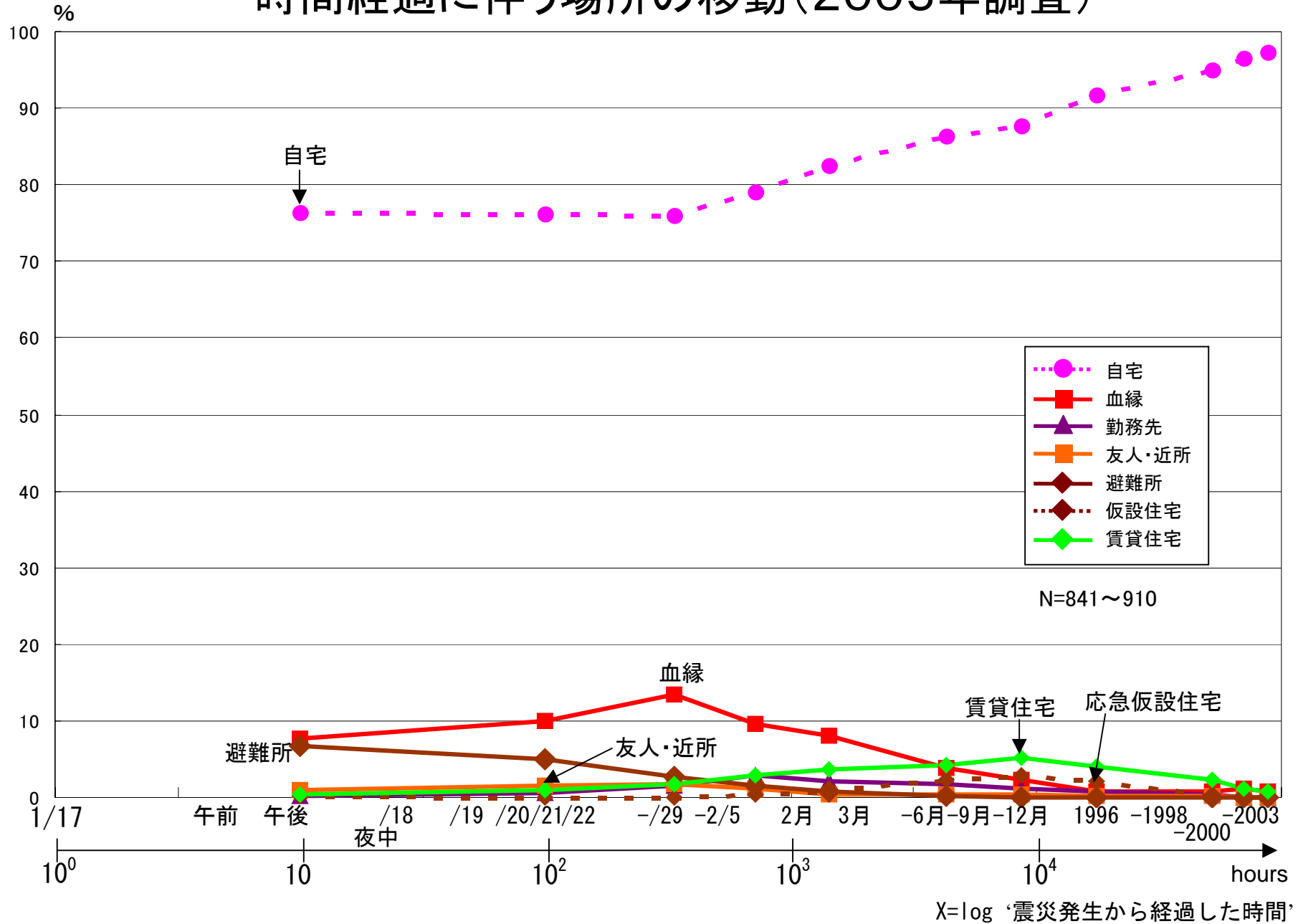
- 自宅
- 別居している(親・子ども)の家
- 親せきの家
- 友人の家
- 近所の家
- 避難所
- 公共の場所
- 車の中・テントなど
- 車庫・駐車場など
- 病院・福祉施設
- ホテル・旅館
- 職場
- その他 ( )

問 17. 震災直後から現在までのお住まいについて教えてください。以下の①～⑪の時期、あなたは仮住まいをしていましたか。仮住まいしていた方は、どちらに一番長く仮住まいしていらっしゃいましたか。

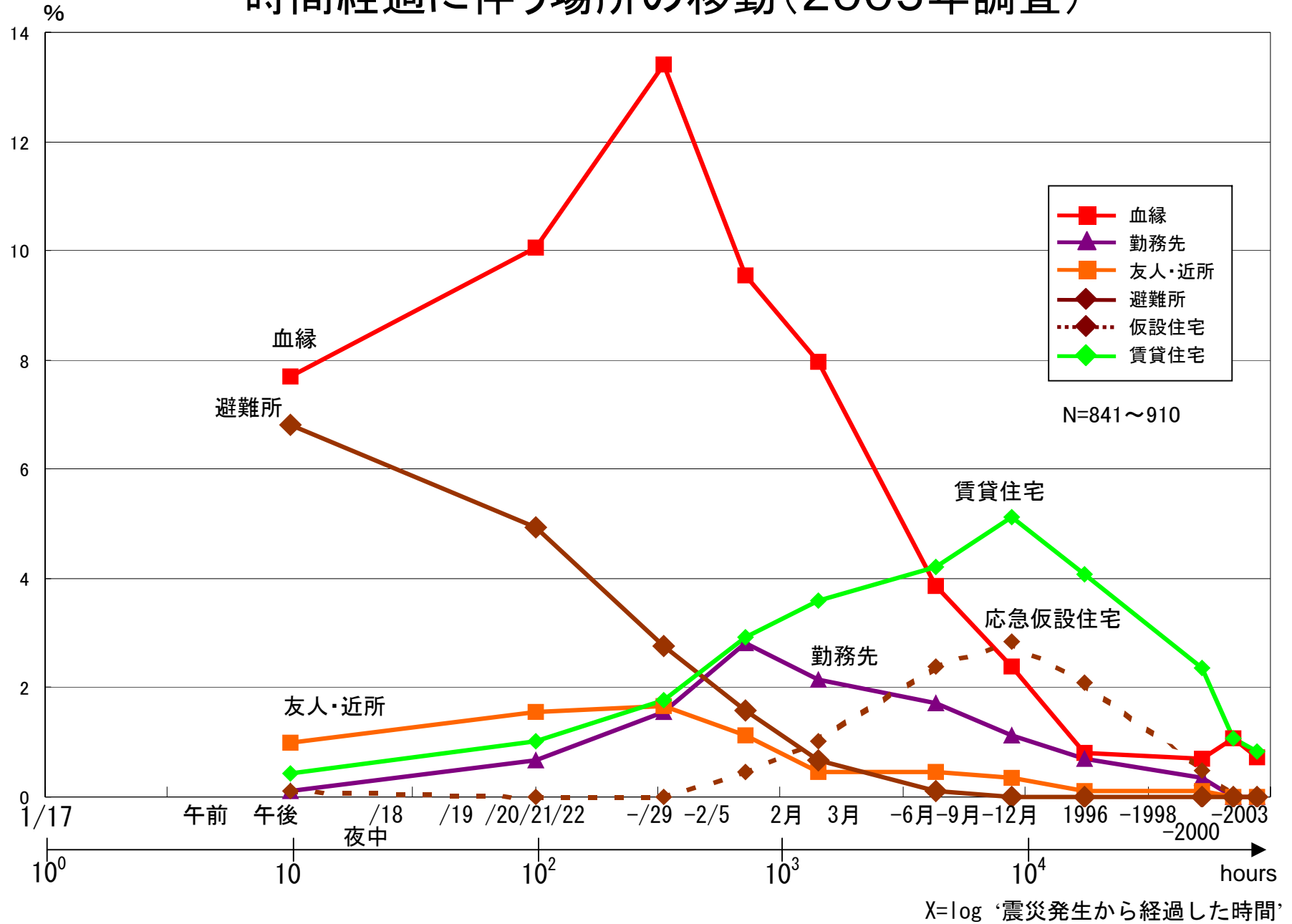
それぞれの時期について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

時期	(A) 仮住まいした							(B) 仮住まいしなかった
	1 親・子ども	2 親せきの家 友人・近所の家	3 会社 が 用意した施設	4 自分で借りた アパート等	5 避難所・ テント・車の中	6 仮設住宅	7 公共の場所・ その他	
① 震災当日 (1/17)	1	2	3	4	5	6	7	8
② 震災後・2～4日 (1/18～1/20)	1	2	3	4	5	6	7	8
③ 震災後・2週間 (1/21～1/31)	1	2	3	4	5	6	7	8
④ 震災後・1ヶ月 (2/1～2/28)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤ 震災後・2ヶ月 (3/1～3/31)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥ 震災後・3～6ヶ月 (4/1～7/31)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑦ 震災後・7～12ヶ月 (8/1～12/31)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑧ 震災後・2年目 (平成8(1996)年)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑨ 震災後・3～6年目 (平成9(1997)年 ～平成12(2000)年)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑩ 震災後・7～8年目 (平成13(2001)年 ～平成14(2002)年)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑪ 震災後・9～10年目 (平成15(2003)年 ～平成16(2004)年)	1	2	3	4	5	6	7	8

# 時間経過に伴う場所の移動(2005年調査)

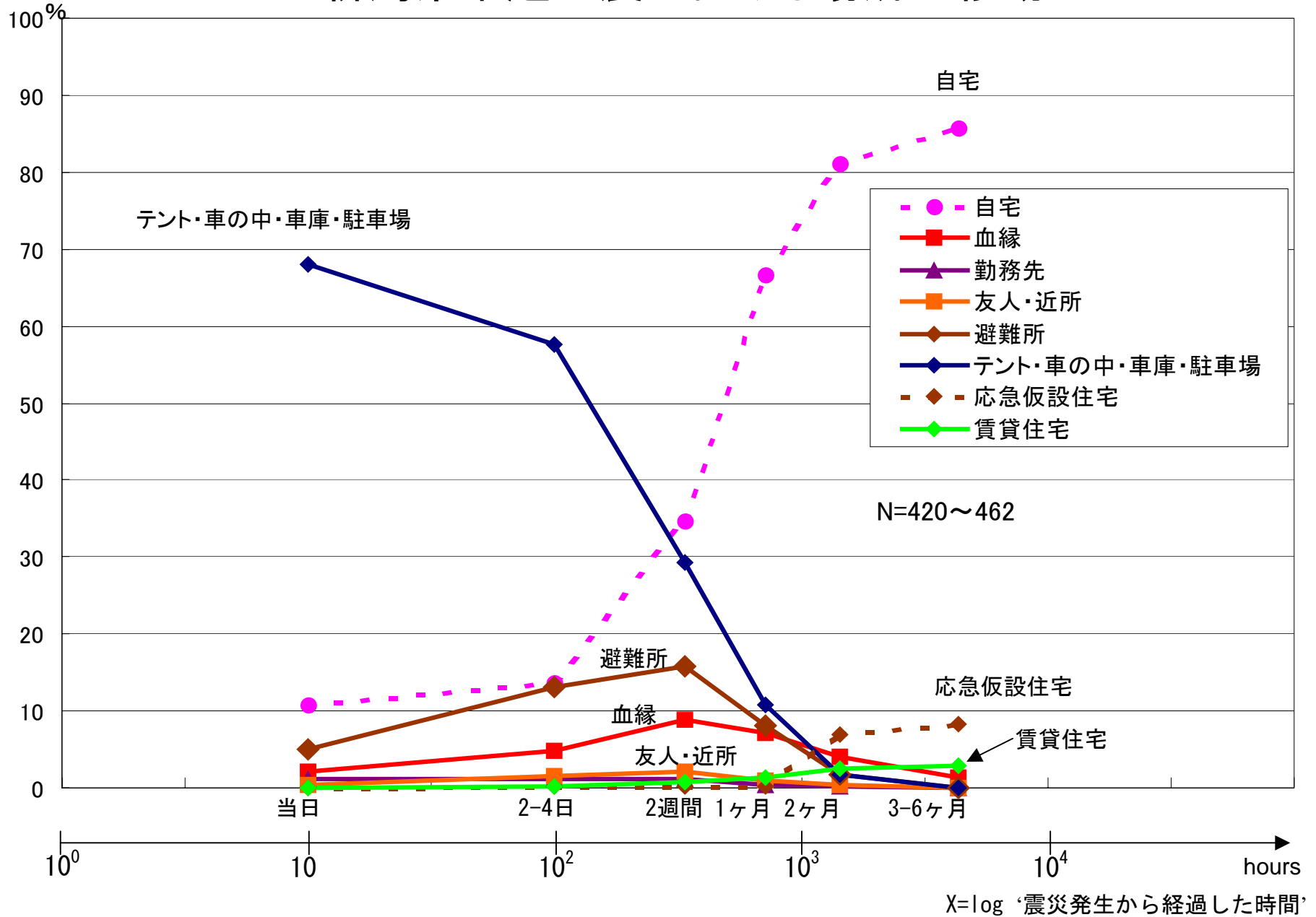


# 時間経過に伴う場所の移動(2005年調査)



時間経過に伴う場所の移動(全体)

# 新潟県中越地震における場所の移動



時間経過に伴う場所の移動(全体)

X=log '震災発生から経過した時間'

# 住居形態の変化

1995年1月

2005年1月

	震災時(1995年1月時点)			2001年1月 調査時点	2003年1月 調査時点	2005年1月 調査時点
	2001年 調査	2003年 調査	2005年 調査			
戸建 持地持家	679 (56.4)	650 (54.0)	549 (53.4)	701 (58.3) +	666 (55.4)	580 (56.4)
分譲 集合住宅	155 (12.9)	175 (14.5)	141 (13.7)	208 (17.3) +	216 (18.0) +	188 (18.3) +
公団・公社	36 (3.0)	36 (3.0)	35 (3.4)	37 (3.1)	40 (3.3)	35 (3.4)
公営住宅	60 (5.0)	64 (5.3)	69 (6.7)	68 (5.7) -	88 (7.3) +	66 (6.4)
社宅	45 (3.7)	32 (2.7)	32 (3.1)	28 (2.3) -	14 (1.2) -	11 (1.1)
借地持家	49 (4.1)	55 (4.6)	52 (5.1)	33 (2.7) -	40 (3.3) +	44 (4.3) +
借家	66 (5.5)	63 (5.2)	53 (5.2)	39 (3.2) -	38 (3.2)	28 (2.7)
民間賃貸 集合住宅	110 (9.1)	123 (10.2)	93 (9.0)	87 (7.2) -	90 (7.5)	60 (5.8) -
仮設住宅	- -	- -	- -	- -	- -	- -
無回答等	3 (0.2)	5 (0.4)	4 (0.4)	2 (0.2)	11 (0.9)	16 (1.6)

2005年調査(n=1028), 2003年調査(n=1203), 2001年調査(n=1203)

震災時の住居形態について、2001・2003・2005年調査には統計的に意味のある差はなし

(01-03:  $\chi^2(7)=5.31$ , n.s., 01-05:  $\chi^2(7)=6.31$ , n.s., 03-05:  $\chi^2(7)=3.88$ , n.s.,)

# すまい満足度

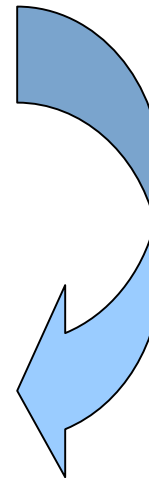
問 16. 現在のあなたのお住まいについて、あなたの考えを教えてください。それぞれ、あてはまる番号に○を1つだけつけてください。

以下のことについて、どう思いますか

1 そう思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちらか といえば そう思わ ない	4 そう思わ ない
-----------	---------------------------	---------------------------------	-----------------

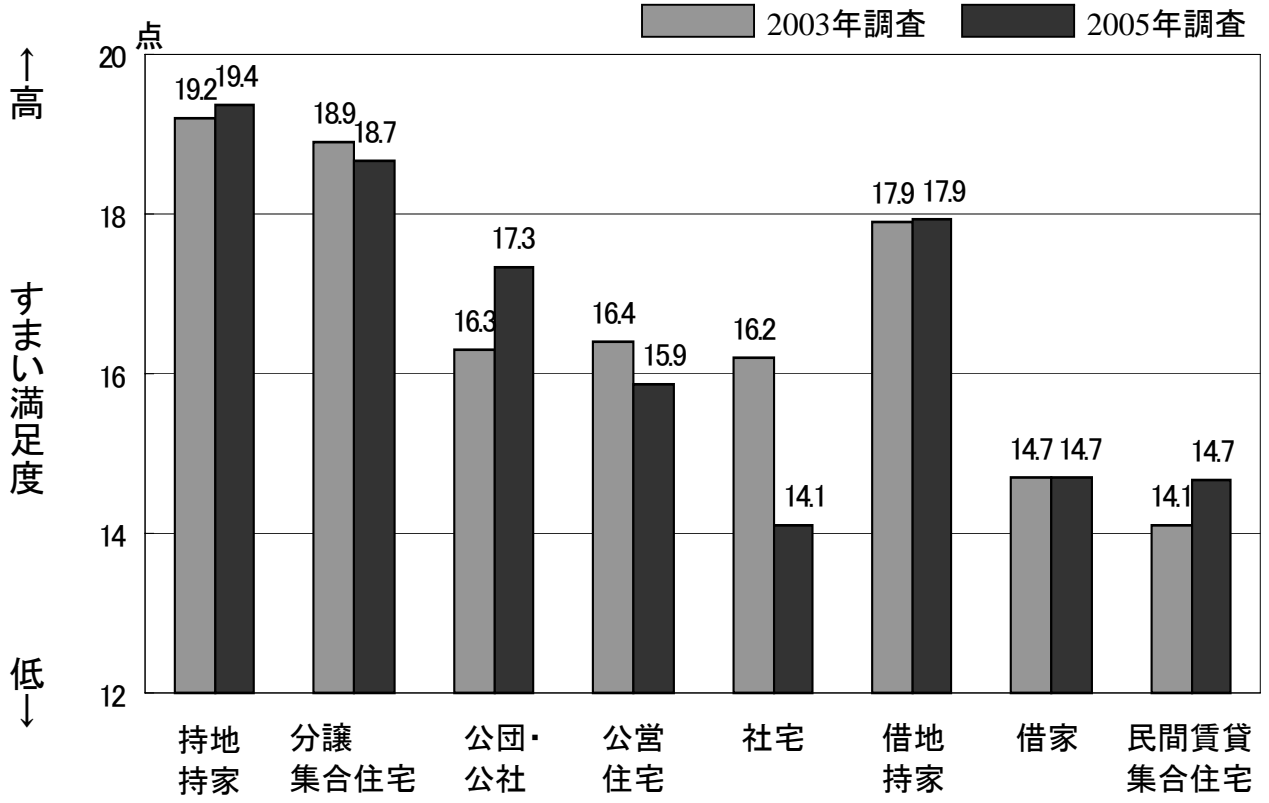
① 今まで住んできたなかで、現在の住まいがいちばんいい	1	2	3	4
② 今、住んでいる住環境を大切にしたい	1	2	3	4
③ 現在の住宅は住みごちがよい	1	2	3	4
-----				
④ 現在の住まいには不満がある	1	2	3	4
⑤ この住宅にずっと住み続けるつもりだ	1	2	3	4
⑥ 今の住宅で安心して暮らしている	1	2	3	4
-----				
⑦ 今の住宅を建て直したい	1	2	3	4
⑧ 今の住宅を増改築・リフォームしたい	1	2	3	4
⑨ 今の住宅に「耐震補強」をしたい	1	2	3	4

\*耐震補強：柱の接合部を強くする、壁を増やす、筋交(すじかい)を入れるなどの方法で建物を地震に強くすること。

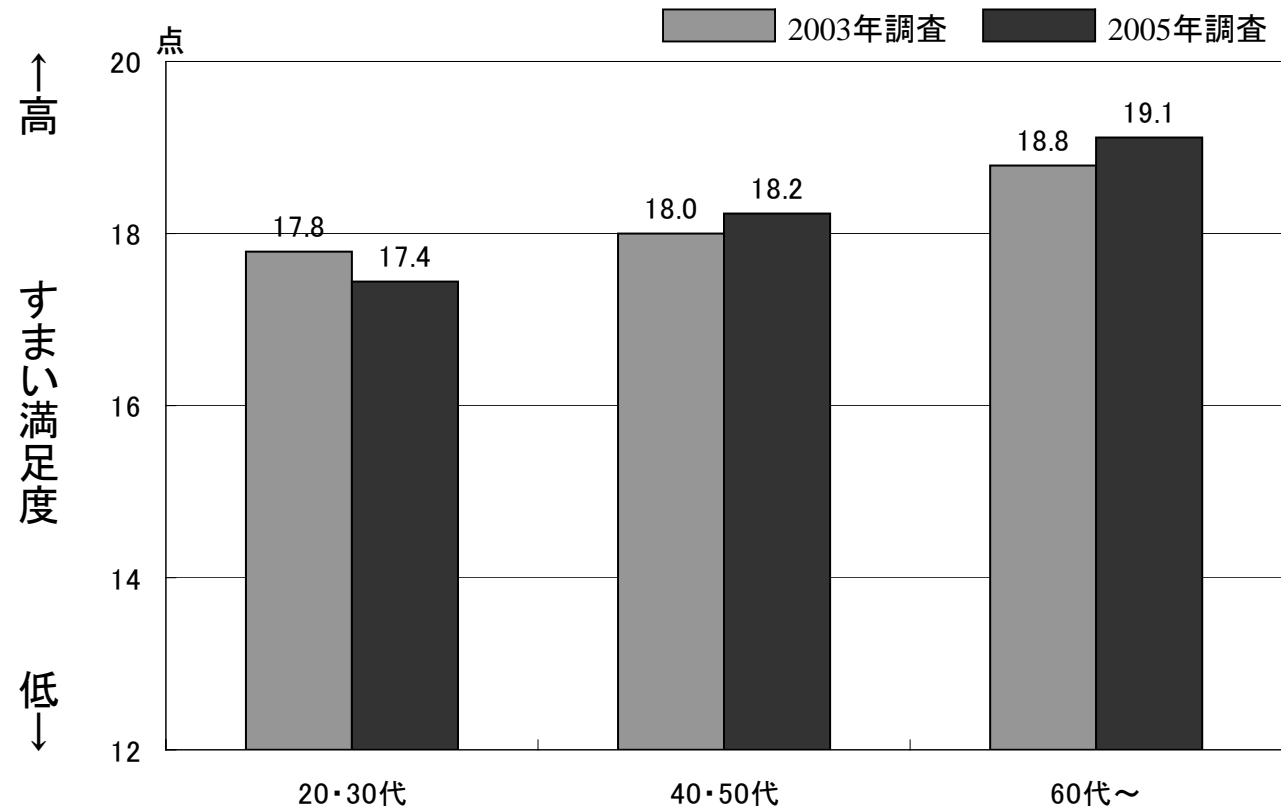


	すまい満足度	共通性
1 現在の住宅は住みごちがよい	.858	.590
2 今まで住んできたなかで、現在の住まいがいちばんいい	.768	.516
3 今、住んでいる住環境を大切にしたい	.719	.736
4 今の住宅で安心して暮らしている	.685	.372
5 現在の住まいには不満がある	-.610	.329
6 この住宅にずっと住み続けるつもりだ	.573	.469
固有値	3.01	
寄与率	50.20	

# すまい満足度(住居形態別)

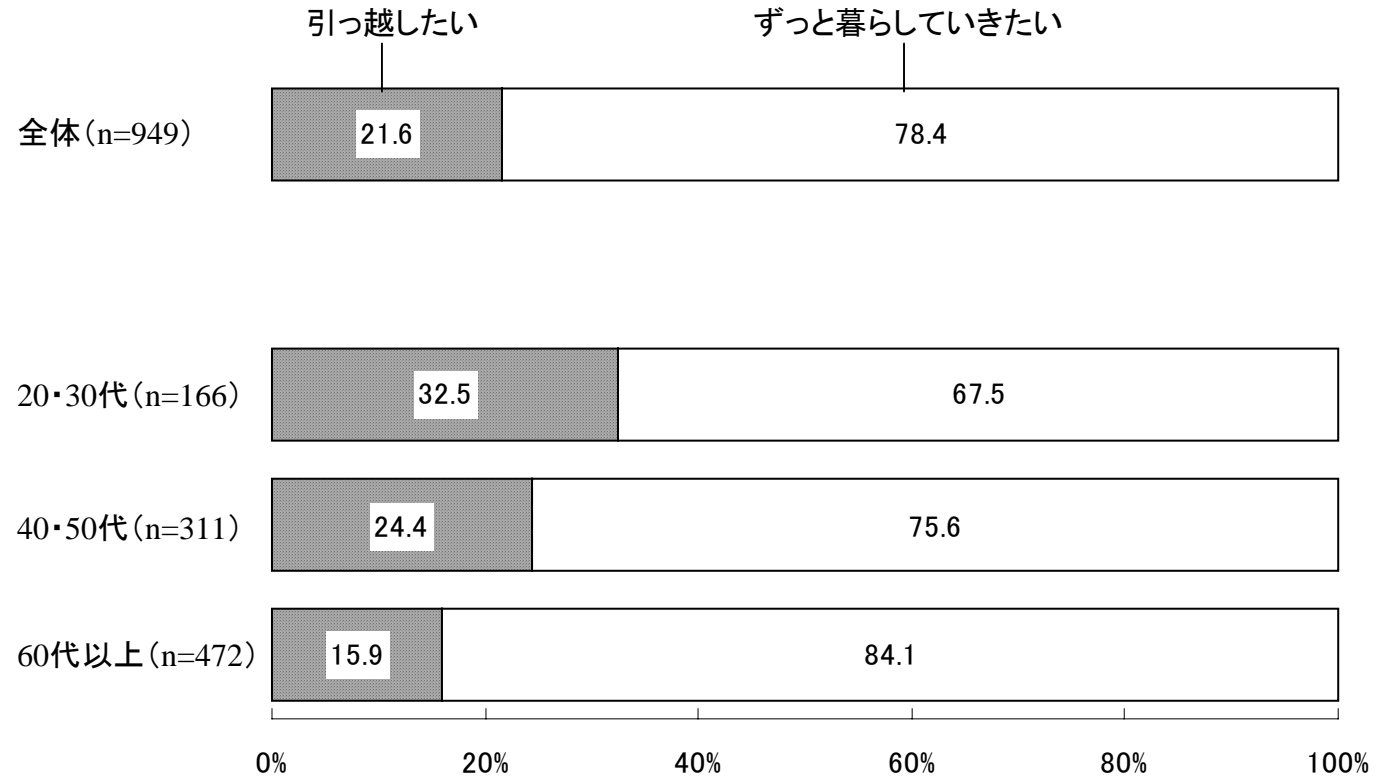


# すまい満足度(世代)

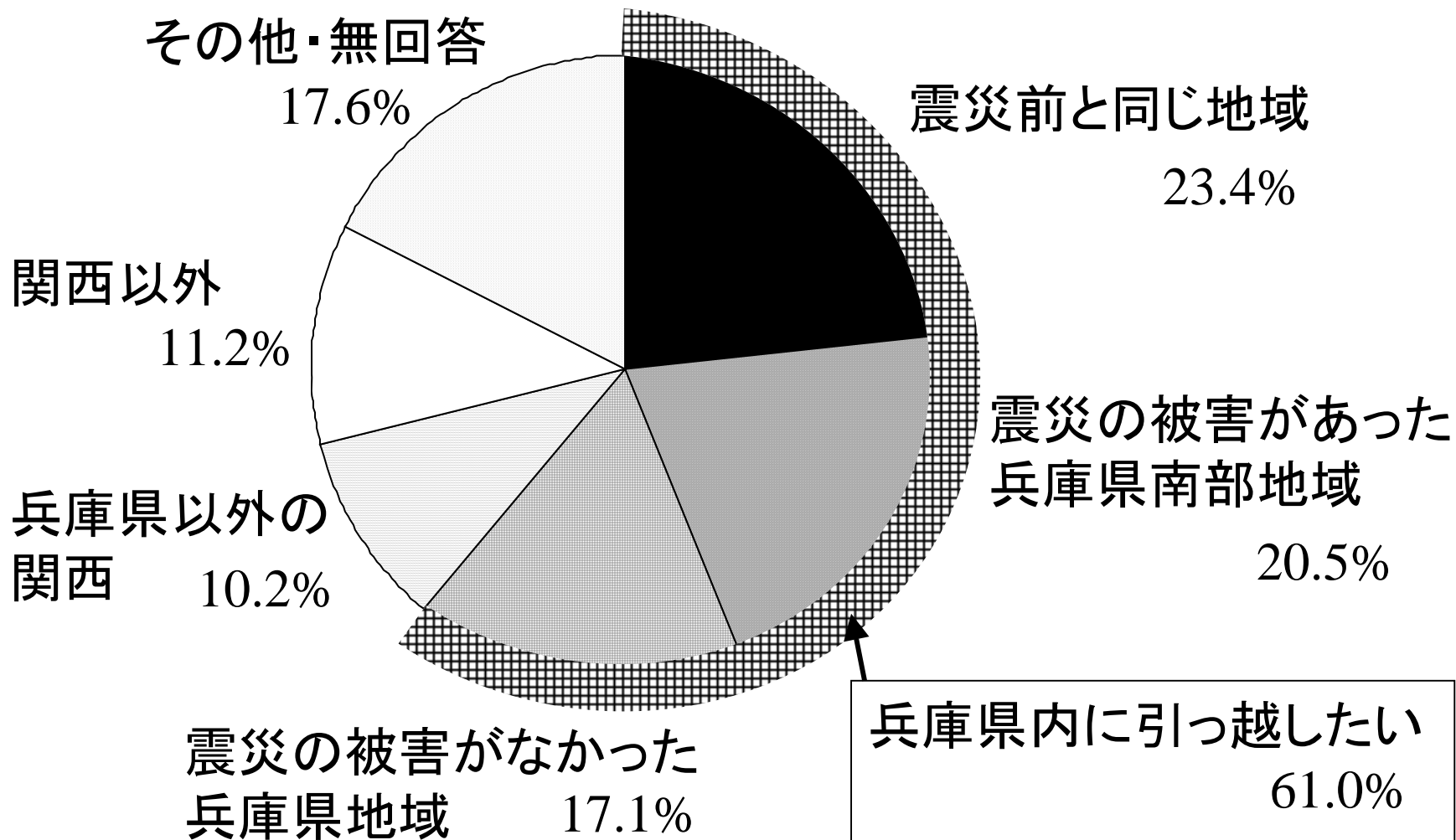




# 永住希望



# 「引っ越したい」と思う行き先



N=205

つながり

問 35. ①～⑮のそれぞれについてあなたのお考えに近いのは1、2のどちらですか。  
これらはどちらかが正解というものではありません。気楽な気持ちであなたのお考えに近いほうに○を1つおつけください。

①苦勞は、

1. 将来役に立つ試練と考える。
2. なるだけ避けて通る。

②わたしは、

1. 自分がしてほしくないことは、他人にもしない。
2. 他人がどういおうと、自分のしたいことが一番だ。

③わたしは、

1. 自分で決めたことは、最後まで守る方だ
2. 自分でできたことでも、守らないことが（よく）ある。

④地域で困っていることがある時、

1. みんなで考えることで解決の糸口が見えると思う。
2. 誰かがうまく解決してくれると思う。

⑤わたしは、

1. たとえ方便でも人にうそをつくのはいやだ。
2. 必要であれば、方便としてうそも許されると思う。

⑥講演会や地域の集まりに参加したとき、

1. 友だちとついおしゃべりに夢中になって、話を聞かないことがある。
2. 話し手に耳を傾けるのが礼儀だと思う。

⑦わたしは

1. いつ子どもに見られても、誇れる自分がある。
2. 私の日頃の行いは、できれば子どもに見せたくない。

⑧わたしは、

1. 用事があっても、近所の人には、自分から話しかけたりはしない方だ。
2. 用事があれば、近所の人にも、自分からきっかけを作って話しかける方だ。

(次のページへ進んでください)

# 市民性尺度

(前ページからのつづき、1、2のどちらかに○をつけてください)

⑨わたしは、

1. 年齢を問わず誰もが対等な関係であると思う。
2. 年齢を考えて、目上の人をうやまうべきだと思う。

⑩成人した子どもと親との関係は、

1. 子どもがいくつになっても親にはある程度の責任がある。
2. 親は親、子は子として考えるほうがよい。

⑪子どもの七五三は

1. 特に祝わなくともよいと思う。
2. お祝いは必ずするものだと思う。

⑫お歳暮やお中元を送りあう行事は、

1. 季節の挨拶なのであったほうがよい。
2. なくともよい慣例だ。

⑬お葬式や結婚式は、

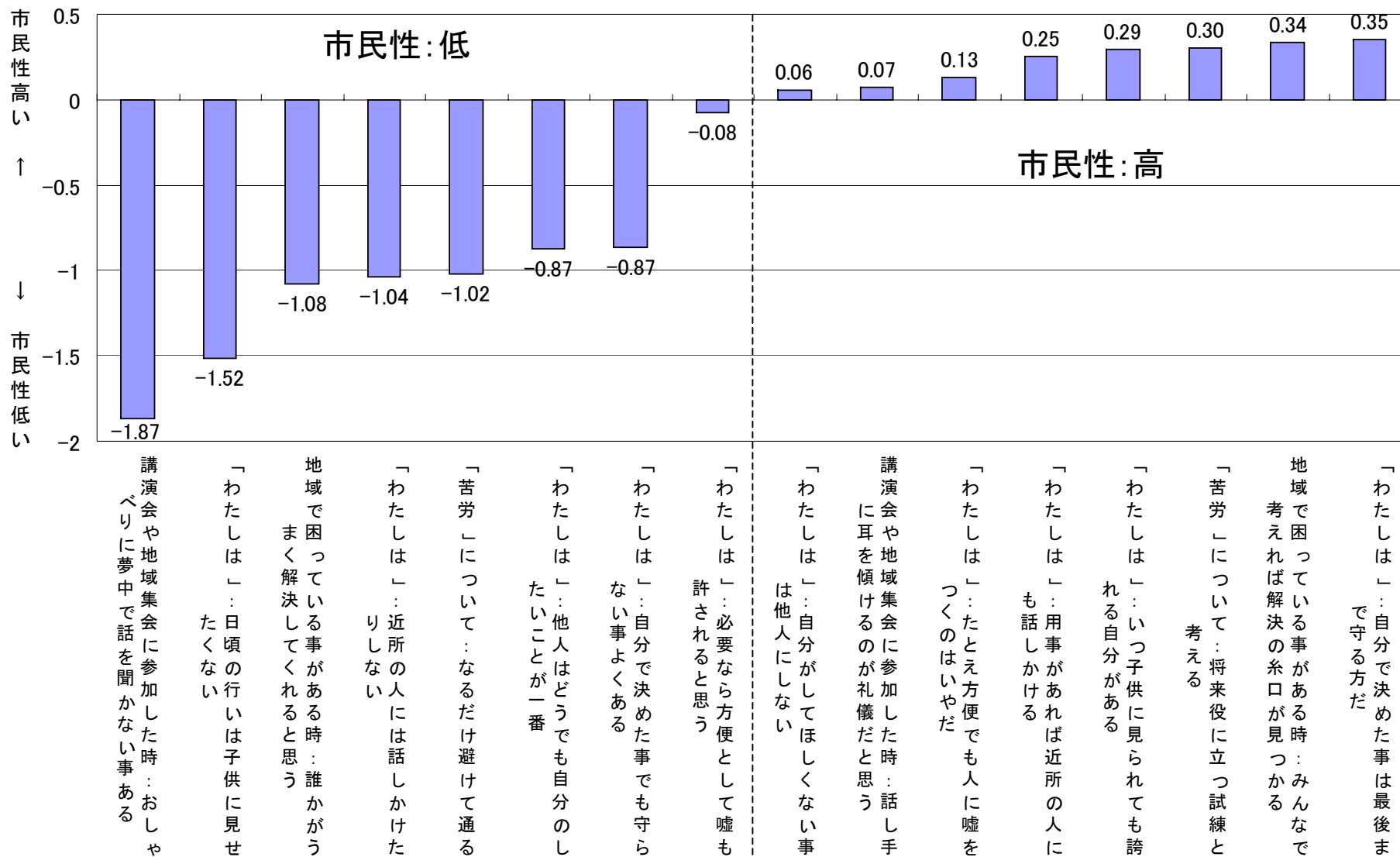
1. それなりの形式をととのえることが大切だ。
2. できるだけ簡略化するのがよい。

⑭外食するときは、

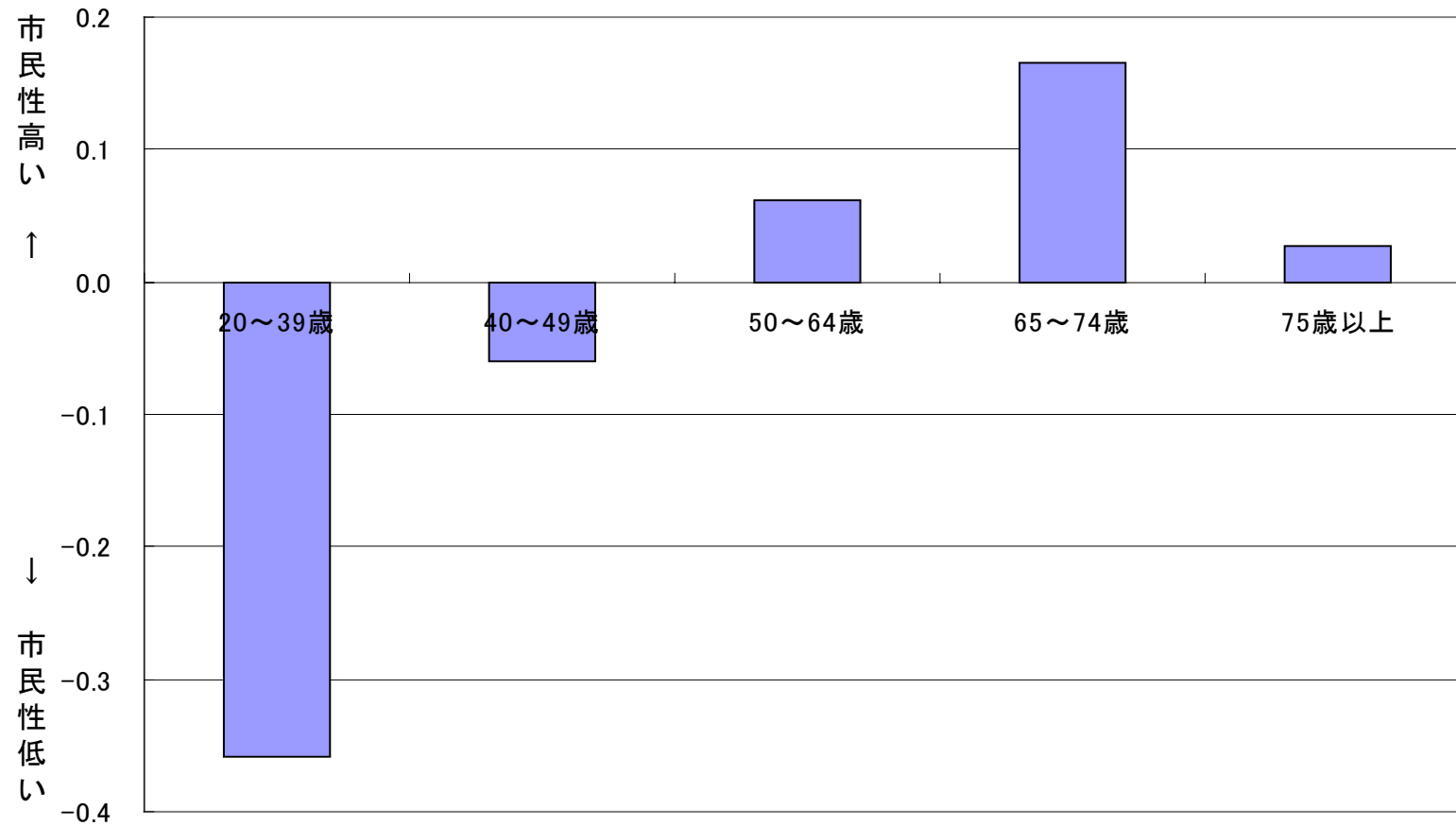
1. 周りの人にあわせて注文する。
2. 自分が食べたいものを注文する。

⑮思いがけず意見を求められた時は、

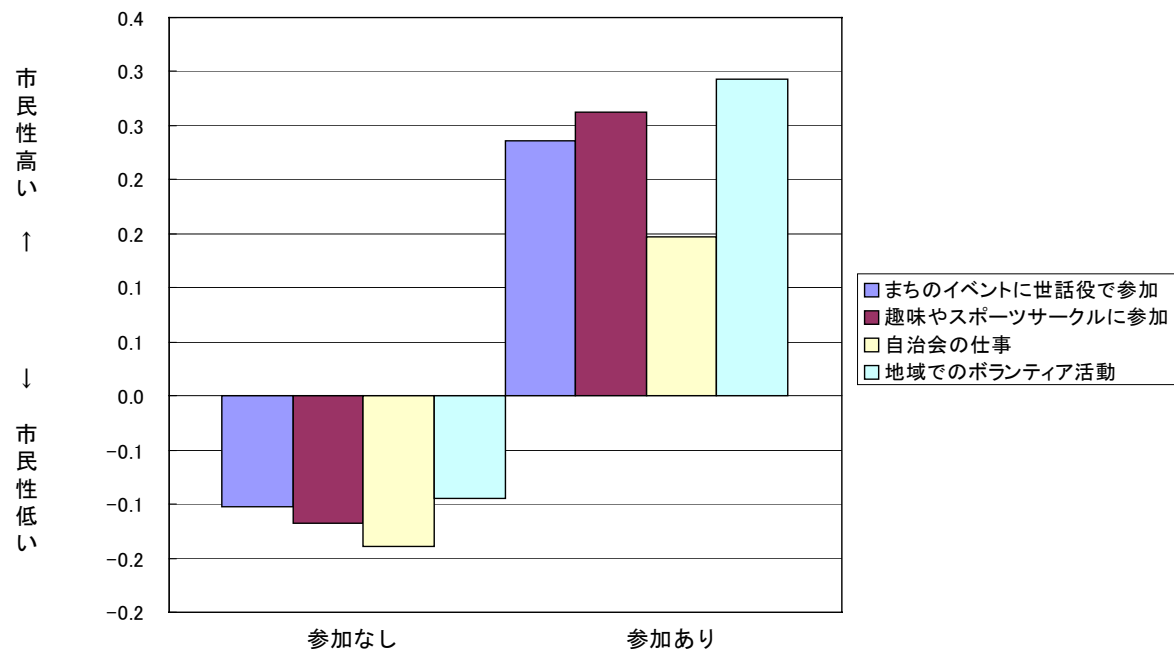
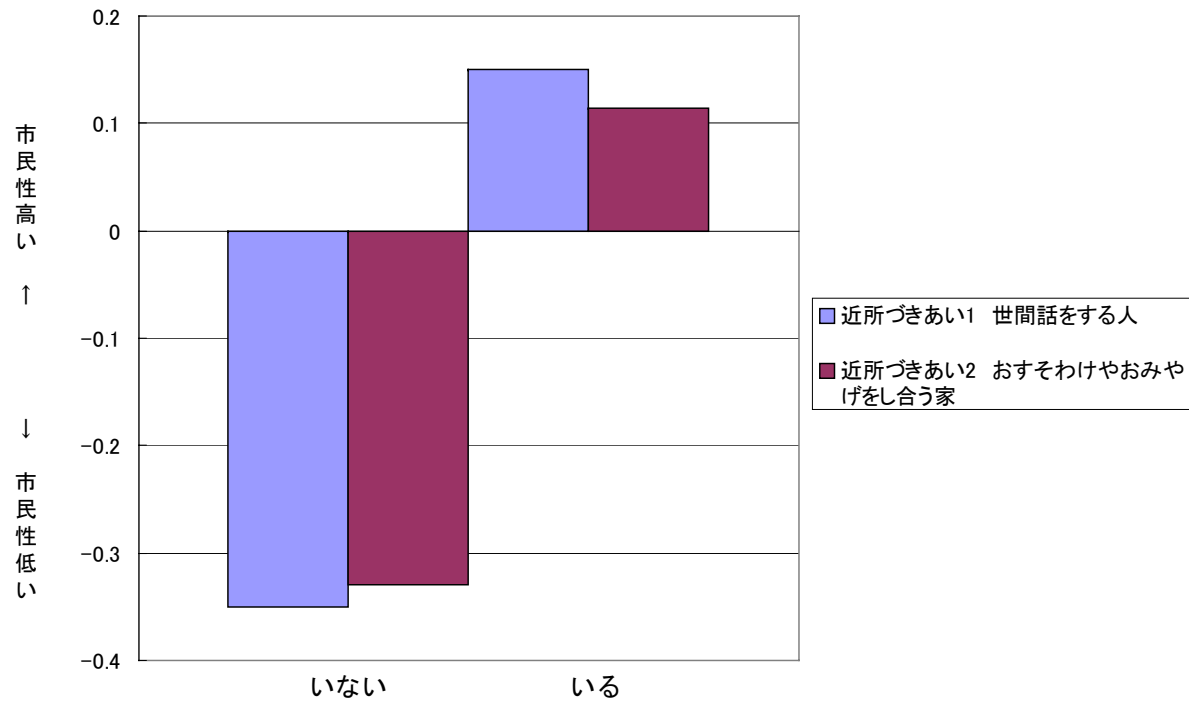
1. 自分の思った意見を述べる。
2. ある程度場の空気を読んで意見を述べる。



市民性の各項目得点(等質性分析結果)



世代と市民性



# 被災体験における 人生の変化

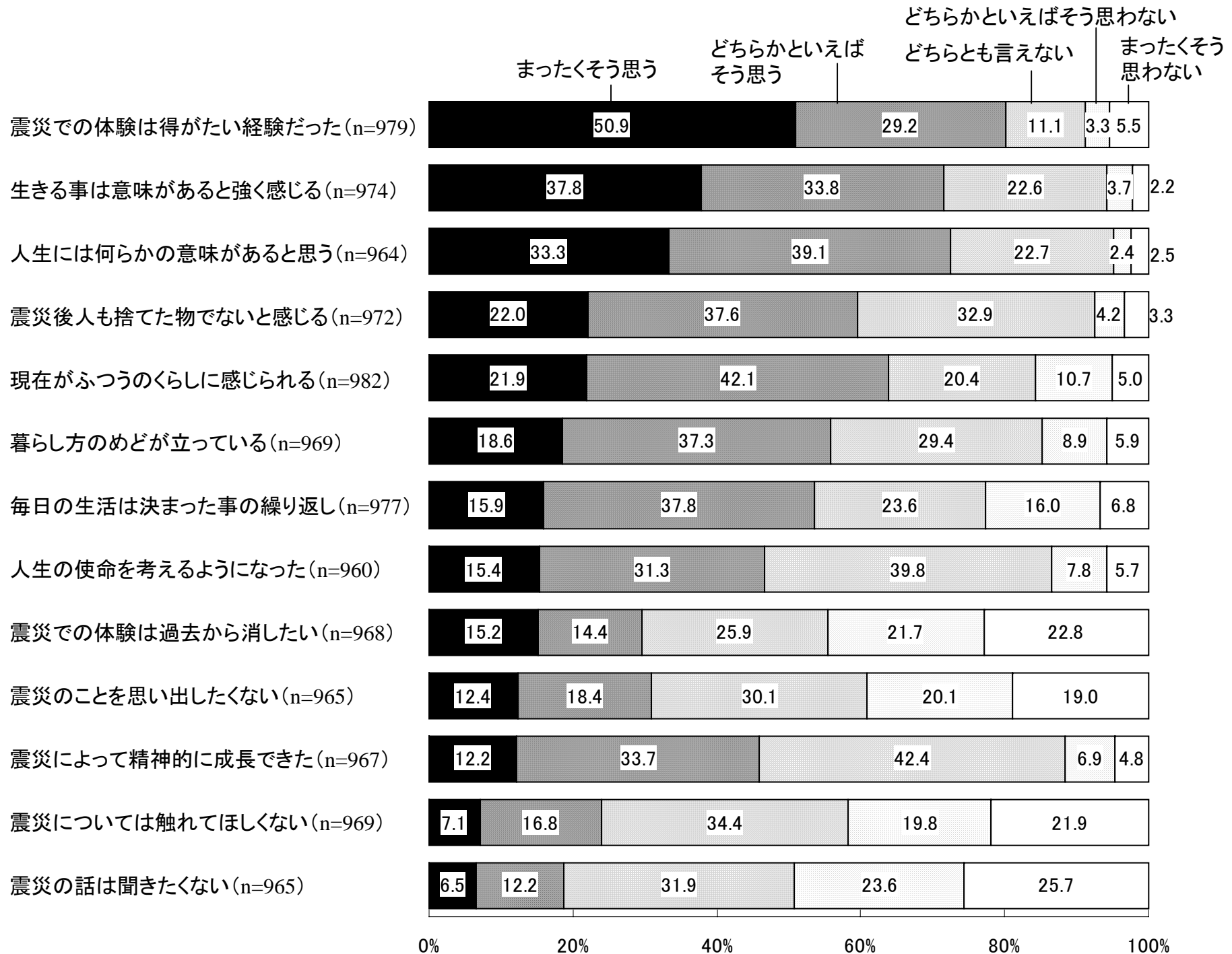
問 29. 震災からこれまでの 10 年間をふり返ると、その間の体験について、あなたはどのような印象をお持ちですか。それぞれ、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

以下のことについて、どう思いますか

1 まったく そう 思う	2 どちらか といえば そう思う	3 どちら とも 言えない	4 どちらか といえば そう思わ ない	5 まったく そう 思わない
-----------------------	---------------------------	------------------------	---------------------------------	-------------------------

- |  |   |   |   |   |   |    |
|--|---|---|---|---|---|----|
| 1. 今の住まいで、どのように暮らしていけば良いのか、そのめどが立っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 33 |
| 2. 毎日の生活は、震災前と同じように、決まったことのくり返しに感じられる。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| 3. 現在が、「ふつう」のくらしに感じられる。                | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| 4. 震災での体験は、日常生活では得られない得がたい経験だった。       | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| -----                                  |   |   |   |   |   |    |
| 5. 震災での体験は、私の過去から消し去ってしまいたい経験だった。      | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| 6. 「自分に与えられた人生の使命とは何か」を考えるようになった。      | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| 7. 震災によって精神的に成長できた。                    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| 8. 震災のことを、思い出したくない。                    | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| -----                                  |   |   |   |   |   |    |
| 9. 「生きることには意味がある」と強く感じる。               | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| 10. 震災については、あまり触れてほしくない。               | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| 11. 人生には何らかの意味があると思う。                  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| 12. 震災の話は、聞きたくない。                      | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |
| 13. 震災後、「人間も捨てたものではない」と感じるようになった。      | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |    |





まち

## まちの復旧・復興状況

問 30. あなたの現在住んでいるまちでの、震災後の復興状況や身近な問題についてお聞きします。それぞれの質問で、あなたの印象にあてはまるもの1つに○をつけてください。

A : あなたのまちの復旧・復興状況について

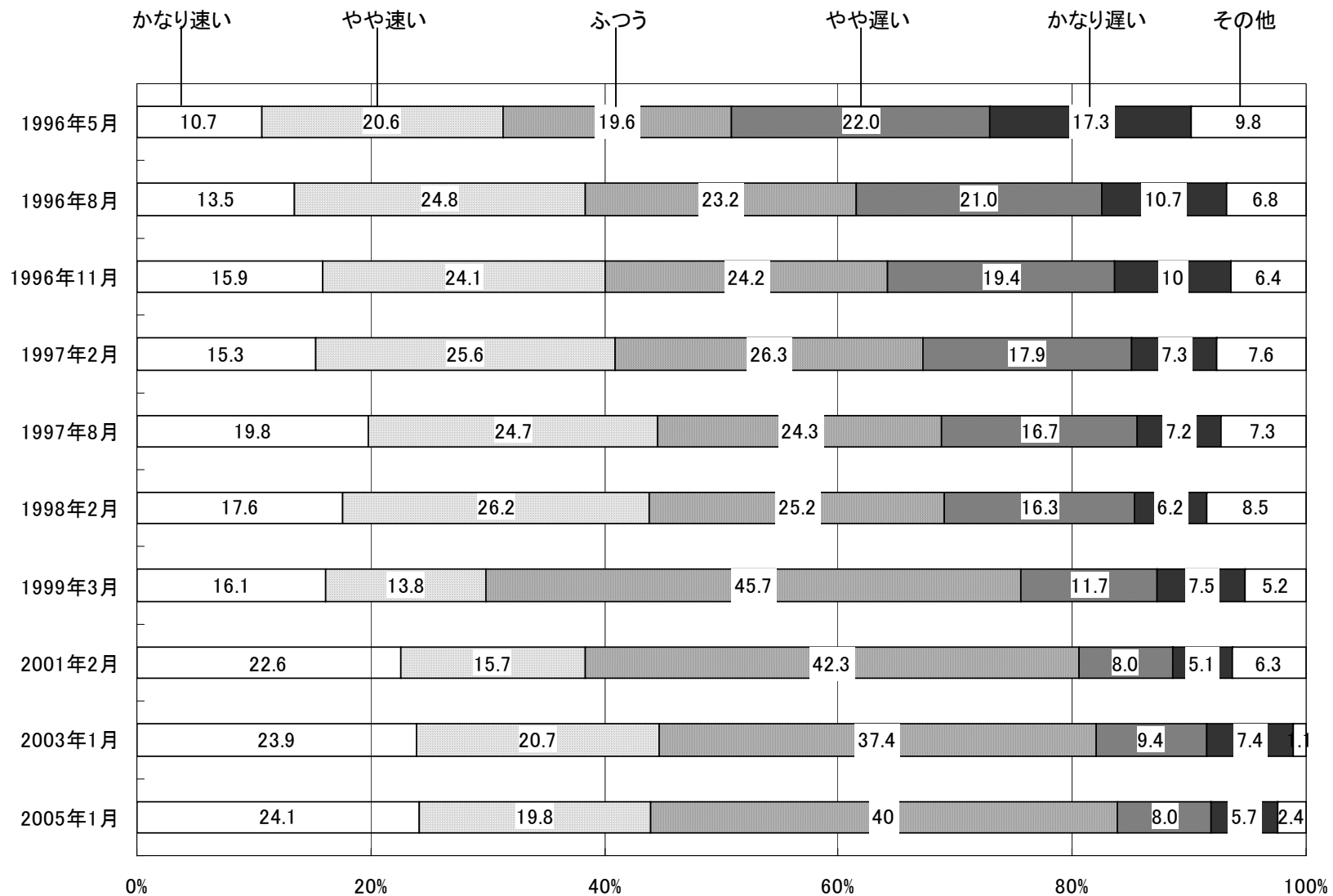
- |          |            |
|----------|------------|
| 1. かなり速い | 4. やや遅い    |
| 2. やや速い  | 5. かなり遅い   |
| 3. ふつう   | 6. その他 ( ) |

46

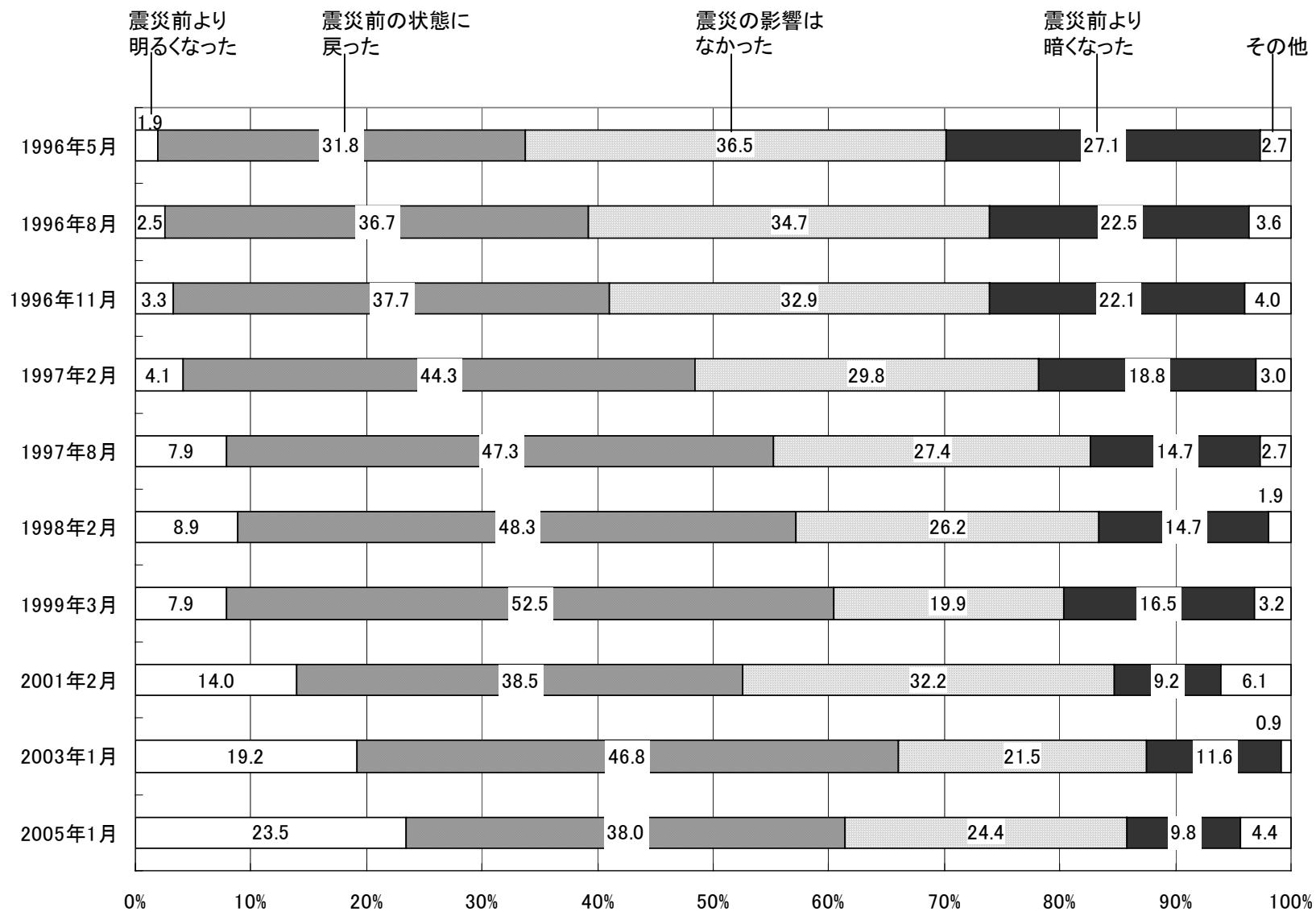
B : あなたの地域の夜の明るさは震災以前と比べてどうですか。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 震災前より明るくなった | 4. 震災の影響はなかった |
| 2. 震災前の状態に戻った  | 5. その他 ( )    |
| 3. 震災前より暗くなった  |               |

47

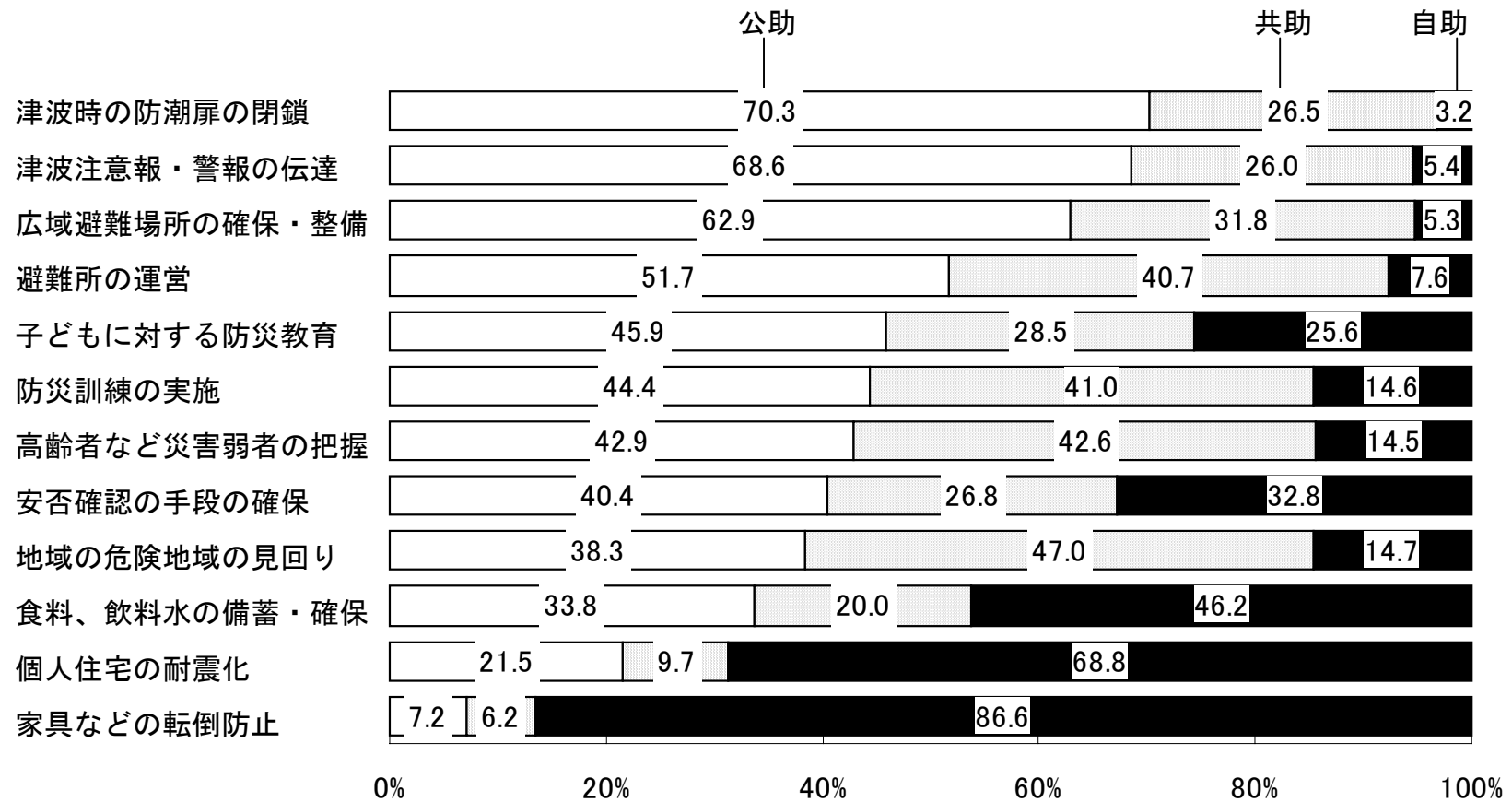


## まちの復興速度感



## 夜の明るさ

そなえ



## 自助・共助・公助のバランス意識

こころと

からだ



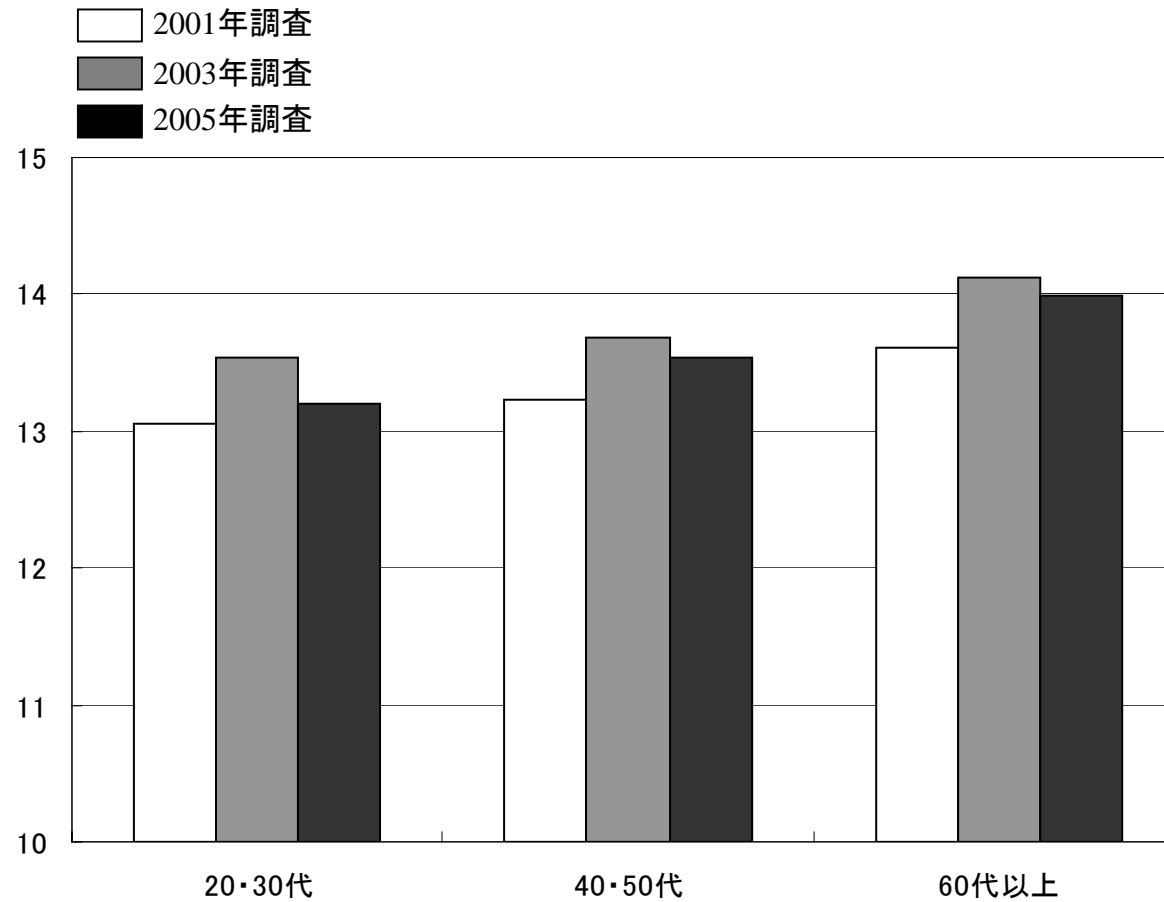
# こころとからだ

問 37. あなたは、最近1ヶ月の間（平成18年9月～平成18年10月）に、つぎにあげた「こころやからだの状態」を、どのくらい体験しましたか。以下のそれぞれの質問を読み、あてはまる番号に○をつけてください。

以下のような「こころ」や「からだ」の状態が	1 まったく ない	2 まれに あった	3 たまに あった	4 たびたび あった	5 いつも あった
① 気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	5
② 寂しい気持ちになる	1	2	3	4	5
③ 気分が沈む	1	2	3	4	5
-----					
④ 次々とよくないことを考える	1	2	3	4	5
⑤ 集中できない	1	2	3	4	5
⑥ 何をするのもおっくうだ	1	2	3	4	5
-----					
⑦ 動悸（どうき）がする	1	2	3	4	5
⑧ 息切れがする	1	2	3	4	5
⑨ 頭痛、頭が重い	1	2	3	4	5
-----					
⑩ 胸がしめつけられるような痛みがある	1	2	3	4	5
⑪ めまいがする	1	2	3	4	5
⑫ のどがかわく	1	2	3	4	5

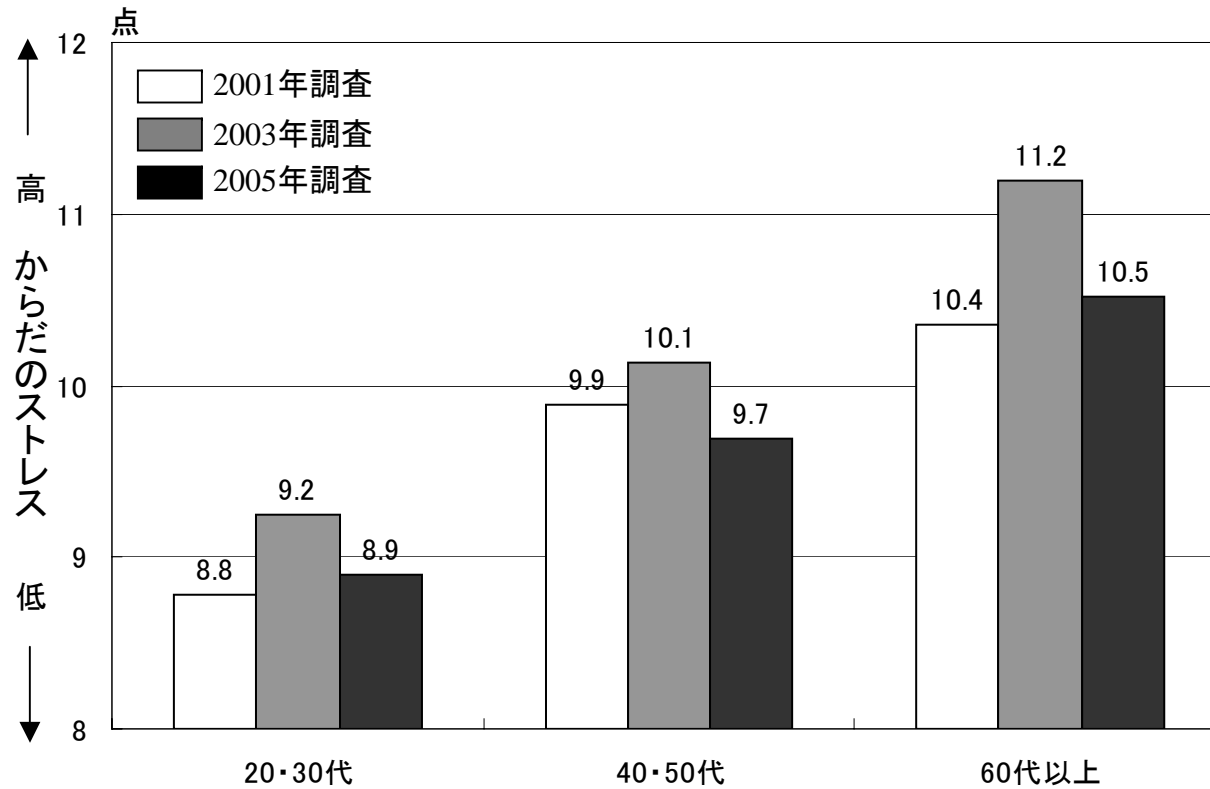
		こころの ストレス因子	からだの ストレス因子	共通性
1	気分が沈む	.860	.275	.713
2	寂しい気持ちになる	.826	.252	.747
3	次々とよくないことを考える	.796	.303	.814
4	気持ちが落ち着かない	.787	.305	.726
5	集中できない	.754	.346	.688
6	何をするのもおっくうだ	.695	.354	.608
7	息切れがする	.252	.844	.755
8	動悸がする	.266	.827	.776
9	胸がしめつけられるような痛み	.233	.713	.556
10	めまいがする	.277	.679	.562
11	頭痛、頭が重い	.344	.662	.538
12	のどがかわく	.337	.566	.434
	固有値	4.22	3.69	
	寄与率	35.21	65.98	

# 世代別こころのストレス



有意差なし

# 世代別からだのストレス



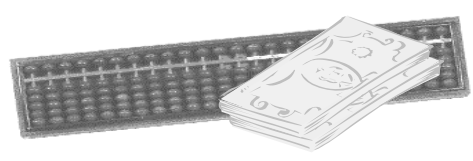
60代以上のからだのストレスは、それ以外の世代に比べて高い

くらしむき

# くらしむき

問 23. 家計のやりくりには、震災後、どのような変化がありましたか。**現在の家計簿**を思い浮かべて、各項目について、それぞれあてはまるところに○をつけてください。

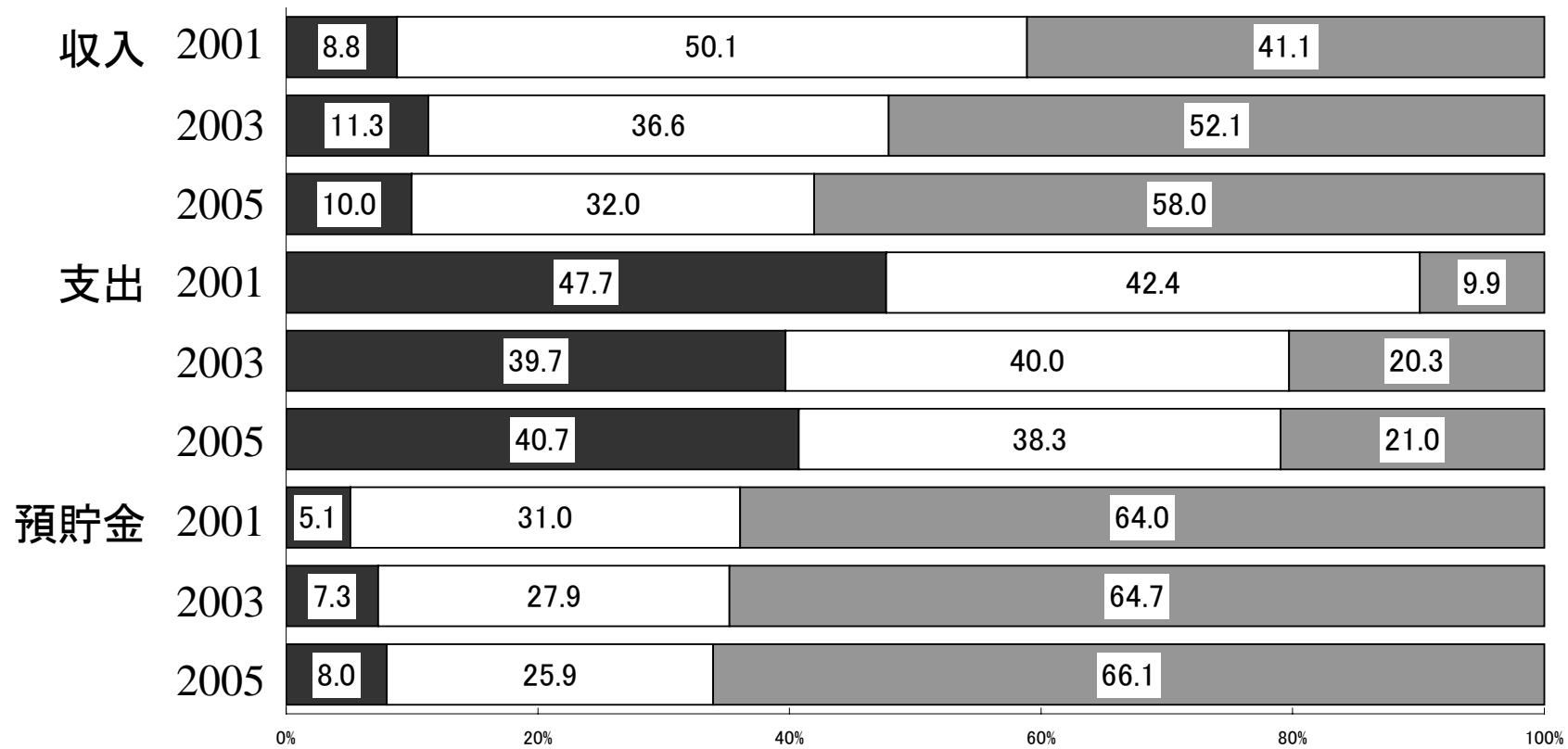
震災前と比べて、 <b>現在の</b> お宅の家計簿では...	
1) 収入	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
2) 支出	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
3) 食費	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
4) 外食費	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
5) 住居・家具費	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
6) 光熱費	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
7) 日用雑貨	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
8) 衣服費	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
9) 文化・教育費	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
10) 交際費(冠婚葬祭費を含む)	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
11) レジャー費	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
12) 交通費	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
13) 医療費	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
14) 保険料	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
15) 自動車費(ある方のみ)	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )
16) 預貯金	( 増えた ・ 変わらない ・ 減った )



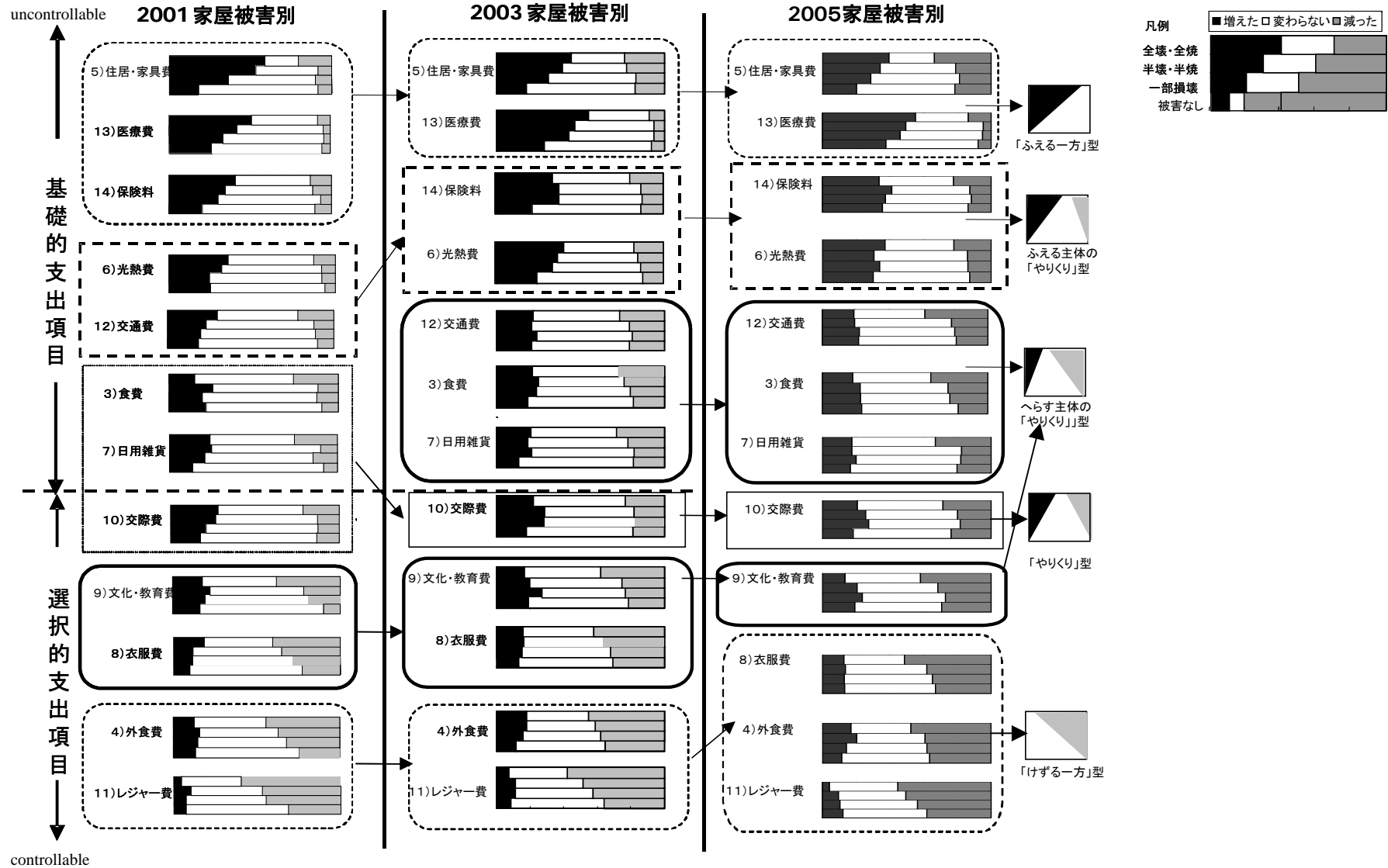
付問. 現在のあなたの世帯の1年間の収入(年収)はどのくらいですか。

1. 300万円未満
2. 300-500万円未満
3. 500-700万円未満
4. 700-1000万円未満
5. 1000-1500万円未満
6. 1500万円以上
7. 答えたくない・わからない

■ 増えた □ 変わらない ■ 減った



# 支出細目と家屋被害程度との関連性





行政とのかかわり

## 行政とのかかわり

問 43. 震災以来、市民と行政の関係が注目されるようになりました。あなたは、どのような市民と行政のかかわりが良いとお考えですか。

(それぞれについて、1、2、3の中であなたのお考えに一番近いものに○をしてください)

① ゴミ出しのルールについて、

1. 行政がもっと指導してほしい。
2. ルールを守るか否かは、各自の自覚にまかせるべきだ。
3. ルールが守られるように、当番を決めて立会人をおくべきだ。

28

② 地域活動（自治会活動・婦人会活動）について、

1. 地域活動に参加する・しないは、本人の自由だ。
2. 行政の支援や指導がなければ、続かない。
3. そこに住む人々の基本的な義務だ。

29

③ 大災害の時に、市民の命を守るのは、

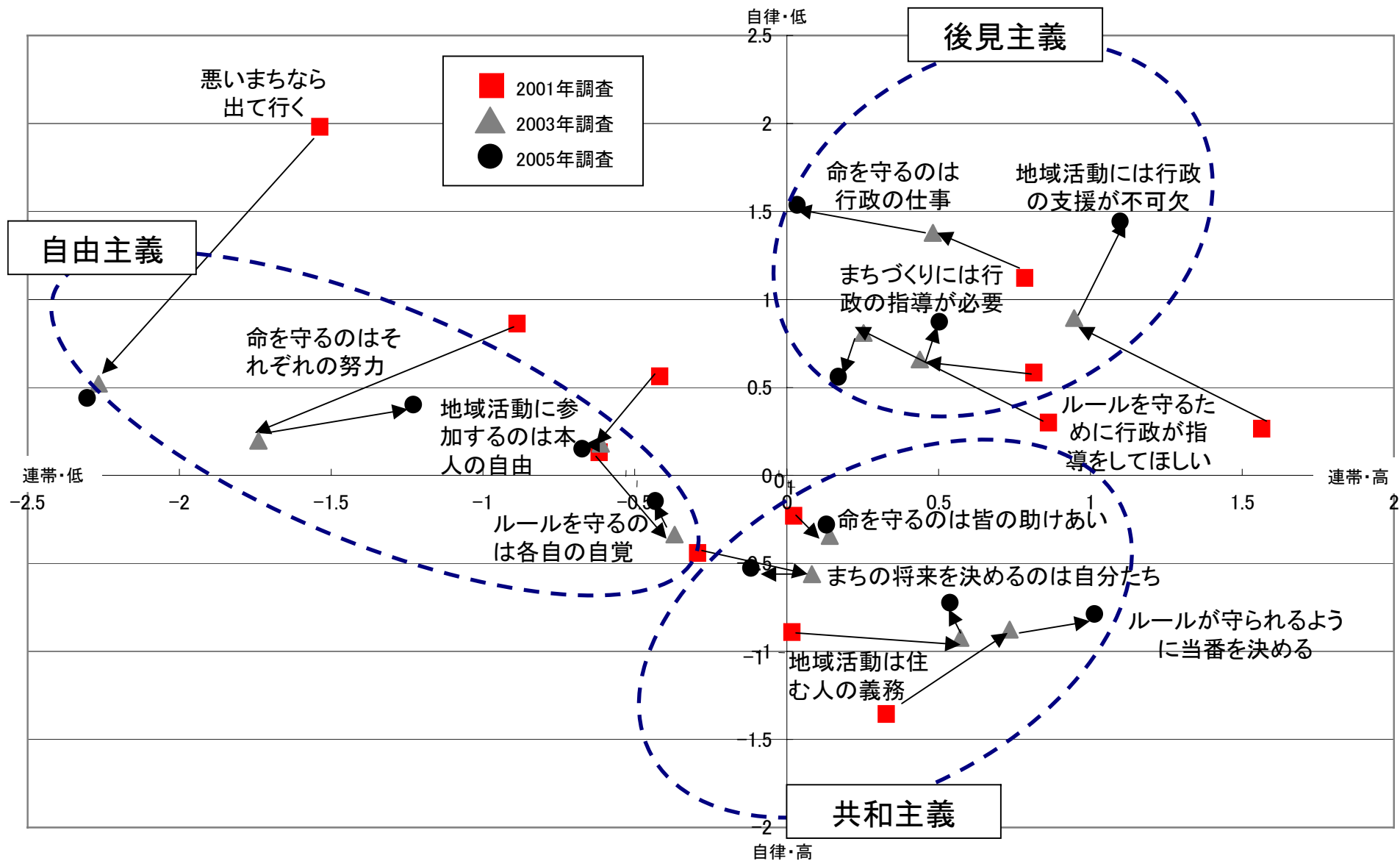
1. それぞれの努力だ。
2. みんなの助け合いだ。
3. 行政の仕事だ。

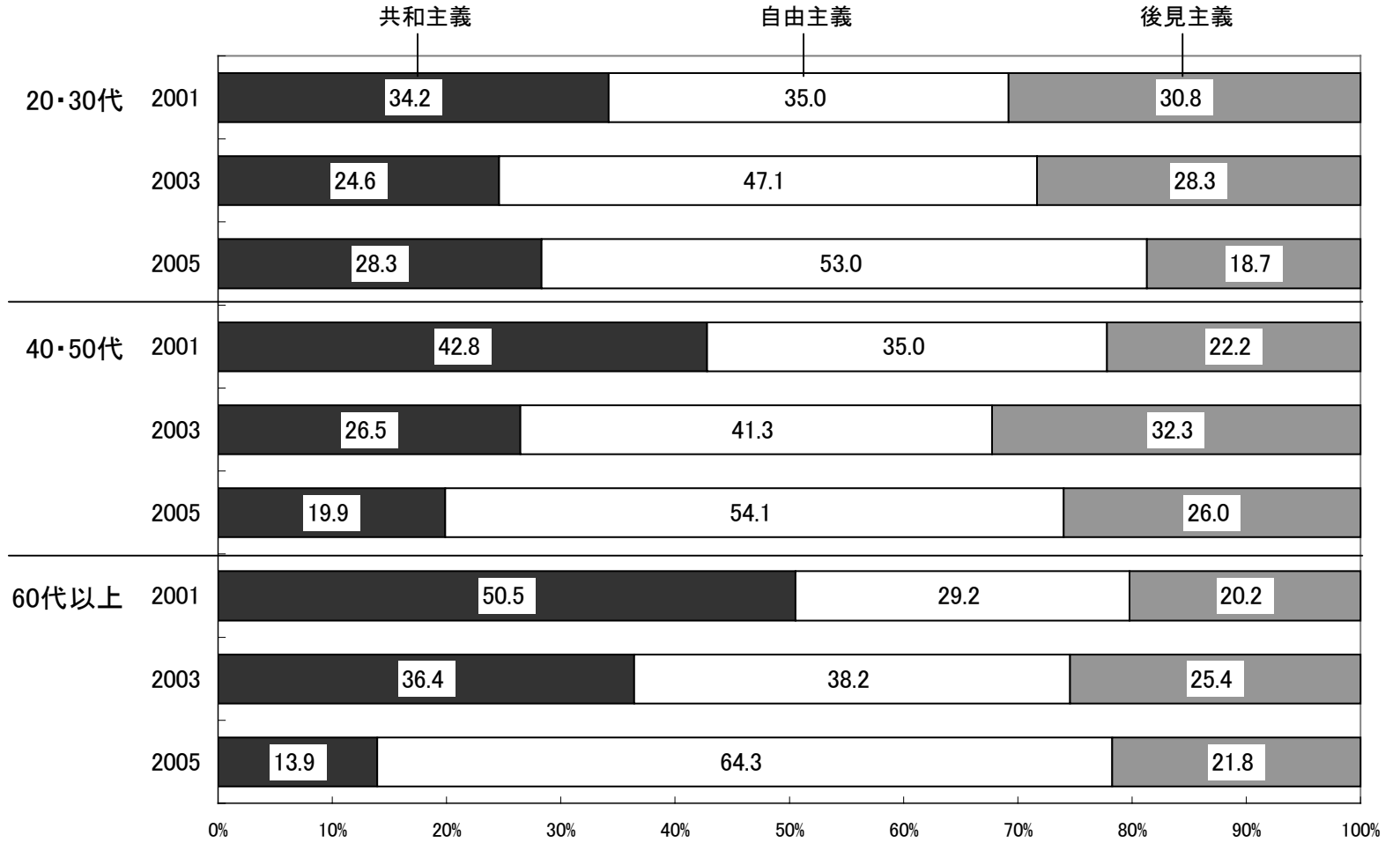
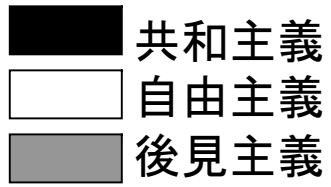
30

④ まちづくりについて、

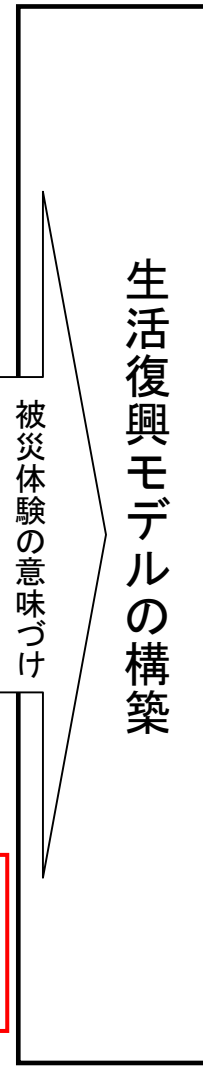
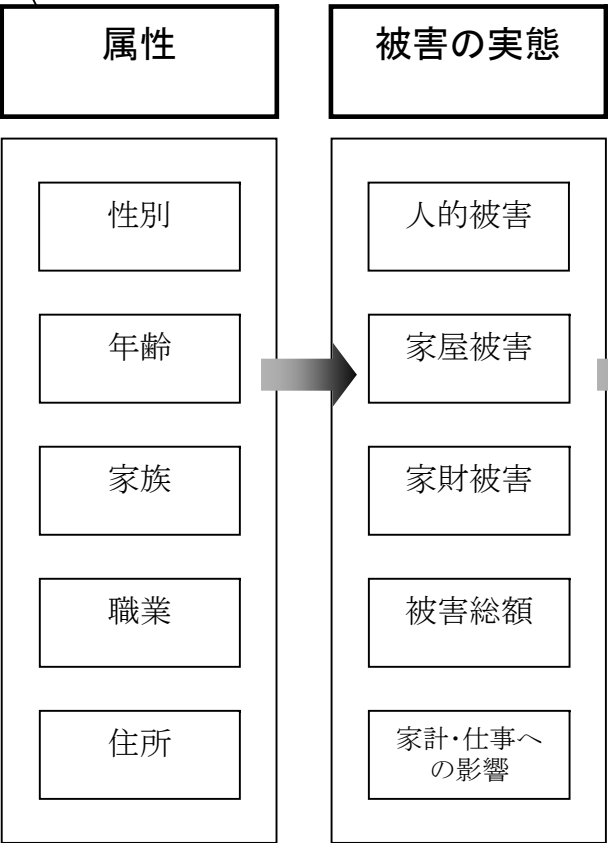
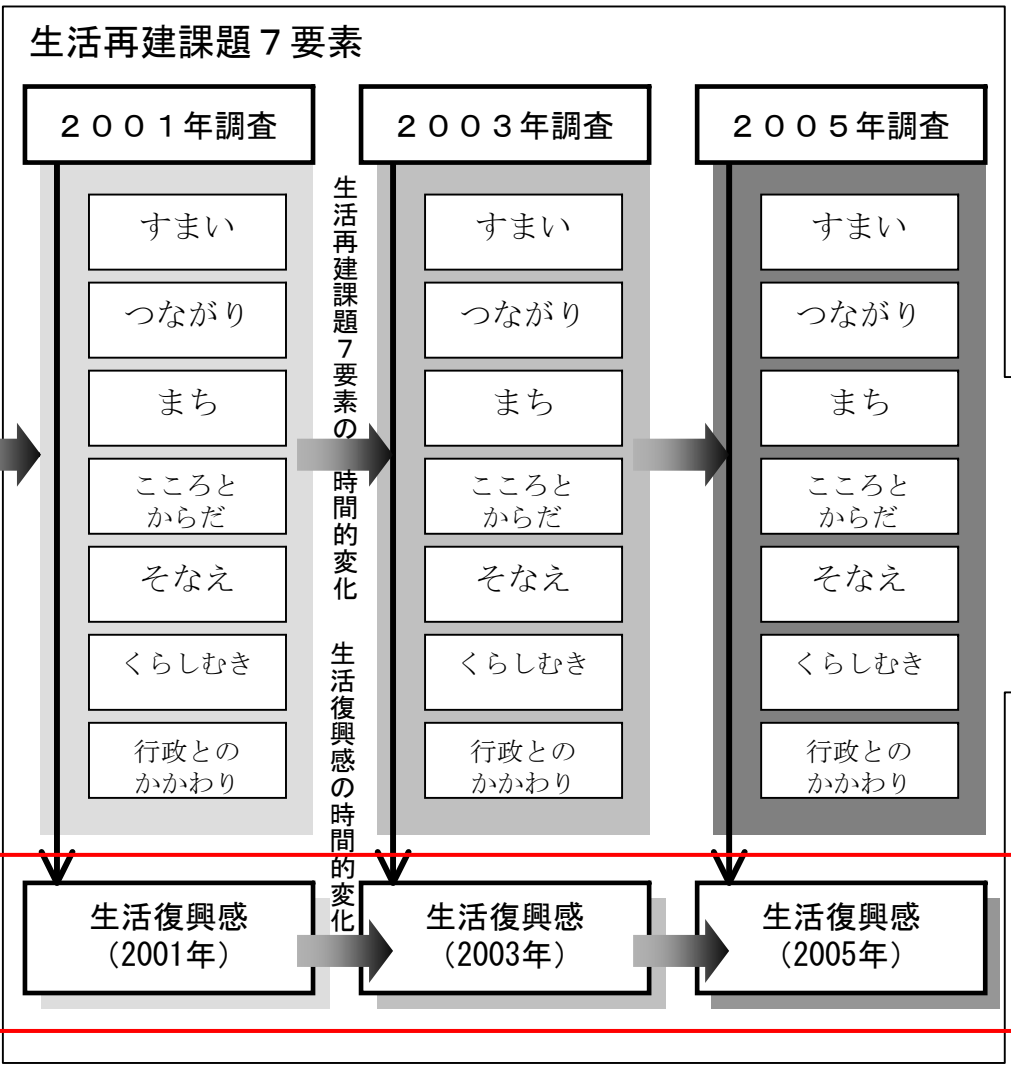
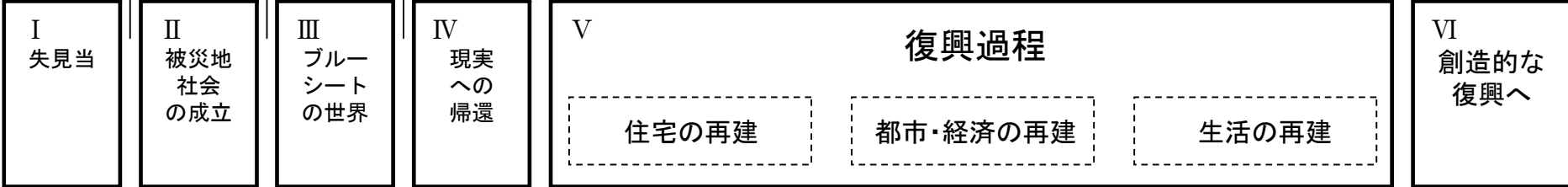
1. 自分の住むまちの将来を決める主役は、自分たちだ。
2. いいまちだから住んでいるので、悪くなれば出て行くだけだ。
3. まちづくりには、行政の指導が不可欠だ。

31





Disaster 10 hours 100 hours 1000 hours 4年(1999.3) 6年(2001.1) 8年(2003.1) 10年(2005.1) Time



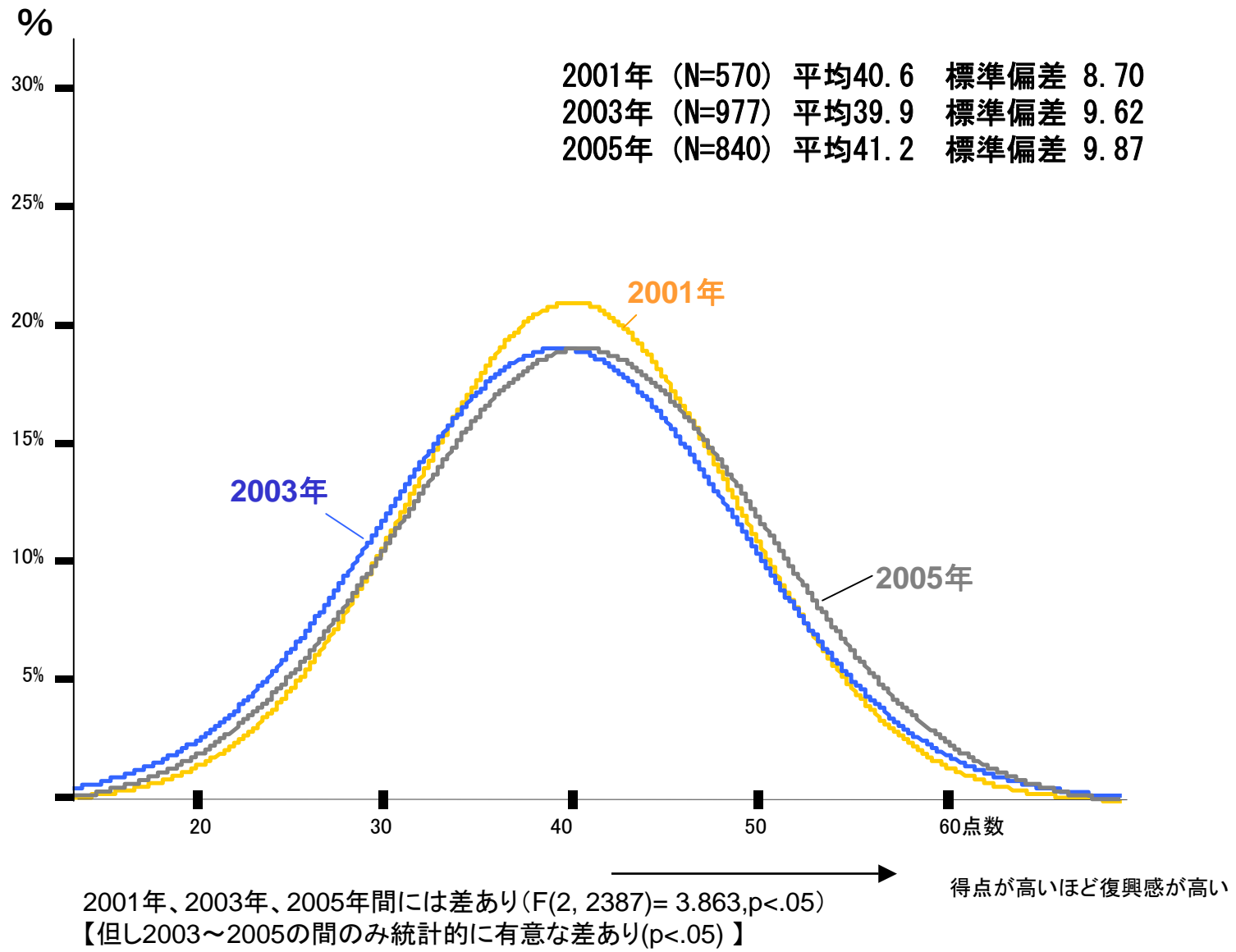
生活復興感

# 2005年度生活復興感尺度・ 因子分析結果(N=1028)

		因子負荷量	共通性
問 26	震災前と比べて増えましたか？減りましたか？		
	1 忙しく活動的な生活を送ること	0.535	0.778
	2 生きがいを感じることに	0.747	0.714
	3 まわりの人々とのつきあい	0.648	0.610
	4 日常生活を楽しく送ること	0.794	0.758
	5 将来は明るいと感じること	0.781	0.667
	6 元気ではつらつとしていること	0.791	0.736
	8 仕事の量	0.388	0.813
問 28	あなたの満足度は？		
	1 毎日の暮らし	0.768	0.775
	2 自分の健康	0.619	0.496
	3 今の人間関係	0.654	0.579
	4 今の家計の状態	0.634	0.664
	5 今の家庭生活	0.682	0.689
	6 自分の仕事	0.658	0.636
問 30:c	1年後のあなたは？ 今より生活がよくなっていますか？	0.516	0.319
固有値		6.247	
寄与率(%)		44.622	

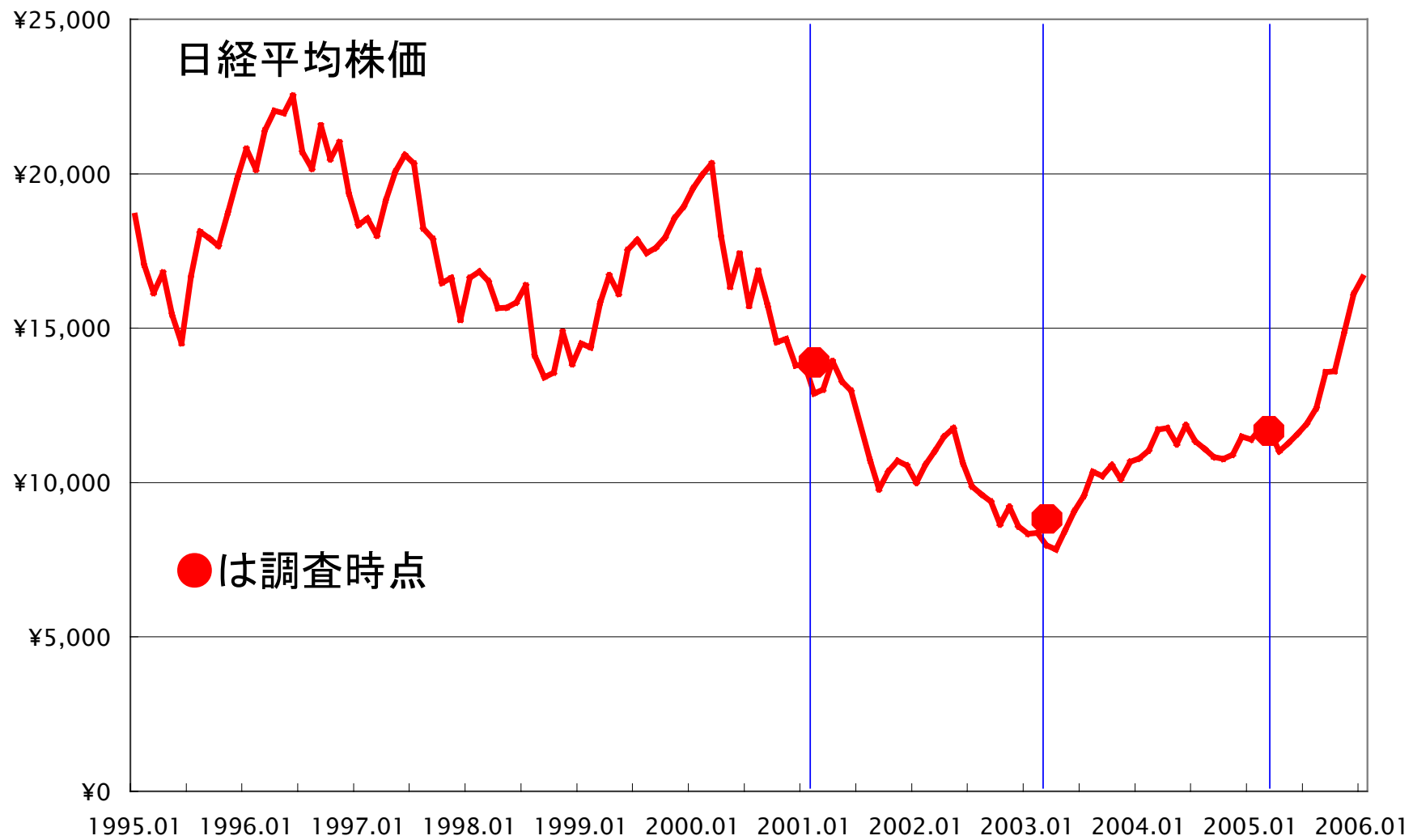
## 生活復興感・得点表

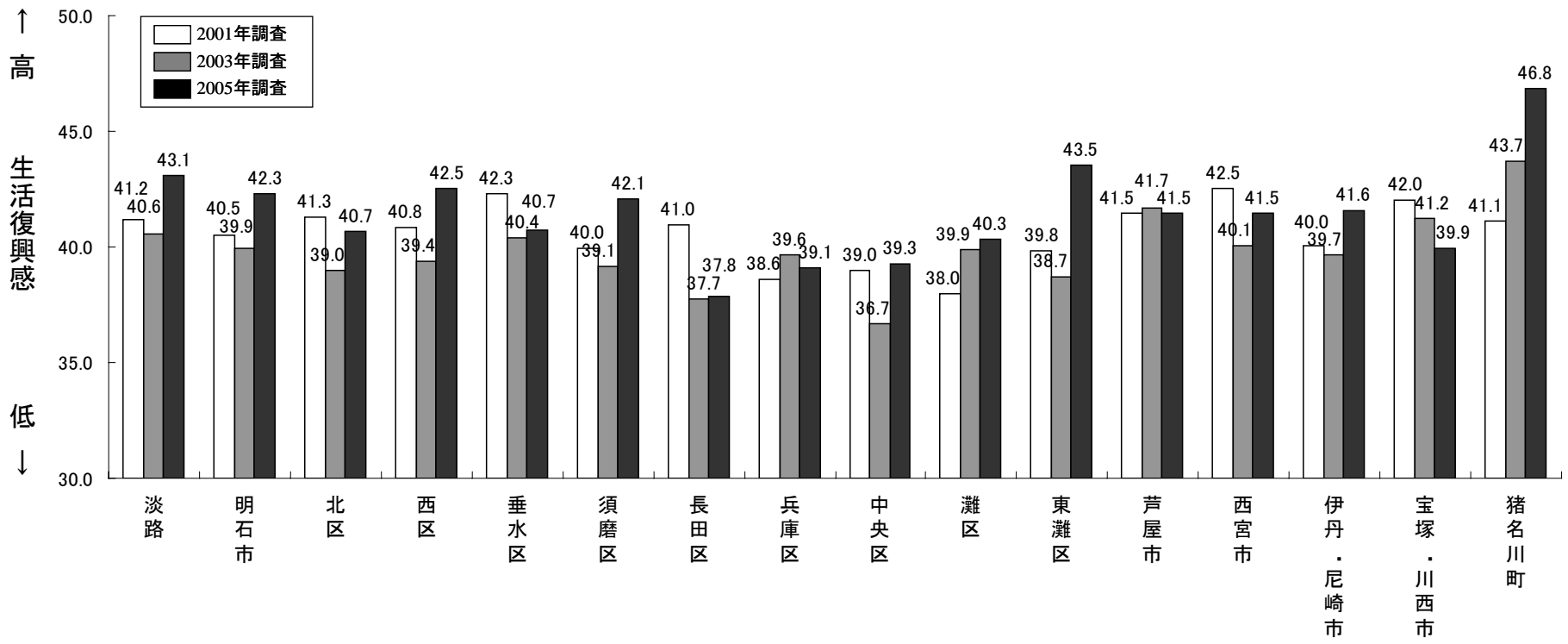
		かなり 増えた	少し 増えた	変わら ない	少し 減った	かなり 減った
問 26	震災前と比べて増えましたか？減りましたか？					
	1 忙しく活動的な生活を送ること	5点	4点	3点	2点	1点
	2 生きがいを感じることに	5点	4点	3点	2点	1点
	3 まわりの人々とのつきあい	5点	4点	3点	2点	1点
	4 日常生活を楽しく送ること	5点	4点	3点	2点	1点
	5 将来は明るいと感じること	5点	4点	3点	2点	1点
	6 元気ではつらつとしていること	5点	4点	3点	2点	1点
	8 仕事の量	5点	4点	3点	2点	1点
問 28	あなたの満足度は？	いつも ある	たびたび ある	たまに ある	まれに ある	まったく ない
	1 毎日の暮らし	5点	4点	3点	2点	1点
	2 自分の健康	5点	4点	3点	2点	1点
	3 今の人間関係	5点	4点	3点	2点	1点
	4 今の家計の状態	5点	4点	3点	2点	1点
	5 今の家庭生活	5点	4点	3点	2点	1点
	6 自分の仕事	5点	4点	3点	2点	1点
問 30:c	1年後のあなたは？	かなり 良くなる	やや 良くなる	変わら ない	やや 悪くなる	かなり 悪くなる
	今より生活がよくなっていますか？	5点	4点	3点	2点	1点



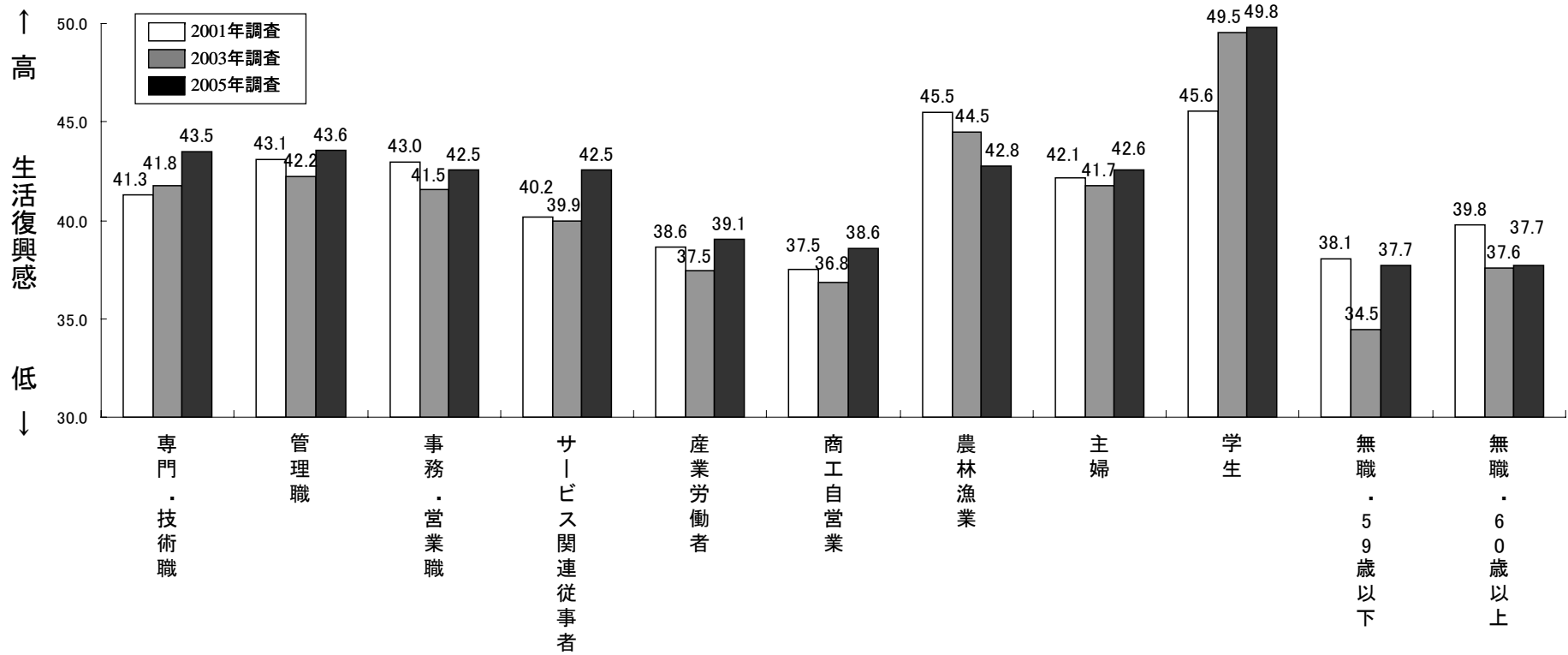
生活復興感の3時点における得点分布







## 地域別の生活復興感



## 職業別の生活復興感

# 生活再建課題7要素と生活復興感との関連性

生活再建課題7要素	生活復興感の高低
①すまい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の地域ですっと暮らしていきたいと思っている人の生活復興感が高い。</li> <li>○すまい満足度の高い人ほど、生活復興感が高い。</li> </ul>
②人と人とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民性が高い人ほど、生活復興感が高くなっている。</li> <li>○近所づきあいや地域活動への参加が積極的な人ほど、生活復興感が高い。</li> <li>○家族間の「きずな（心理的な結びつき）」の強い人ほど生活復興感が高く、「かじとり（リーダーシップ）」のバランスがとれた人ほど、生活復興感が高い。</li> </ul>
③まち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まちの復旧・復興のスピードが「速い」と感じている人は、「遅い」と感じている人に比べて、生活復興感が高い。</li> <li>○地域の夜の明るさが「震災前より明るくなった」と感じている人は、「震災前より暗くなった」と感じている人に比べて、生活復興感が高い。</li> <li>○まちの共有物（コモンズ）への認知や愛着の度合いが高い人ほど、生活復興感が高い</li> </ul>
④そなえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来の災害によってもたらされる被害の程度が「小さい」と予測している人は、「大きい」と予測している人に比べて、生活復興感が高い。</li> </ul>
⑤こころとからだ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こころとからだのストレスが低い人は、ストレスが高い人に比べて、生活復興感が高い。</li> </ul>
⑥くらしむき	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家計が「好転」した人は、「悪化」した人に比べて、生活復興感が高い。</li> </ul>
⑦行政とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「共和主義的（公共への積極的関与型）」な人は、「自由主義的（公共無関心型）」「後見主義的（行政依存型）」な人に比べて、生活復興感が高い。</li> <li>○公園の維持管理や地域の行事・活動などに対する金銭的な自己負担の意識が高い人は、自己負担をあまりしたくないという意識の人に比べて、生活復興感が高い。</li> </ul>

# 復興カレンダー

# 復旧・復興カレンダー

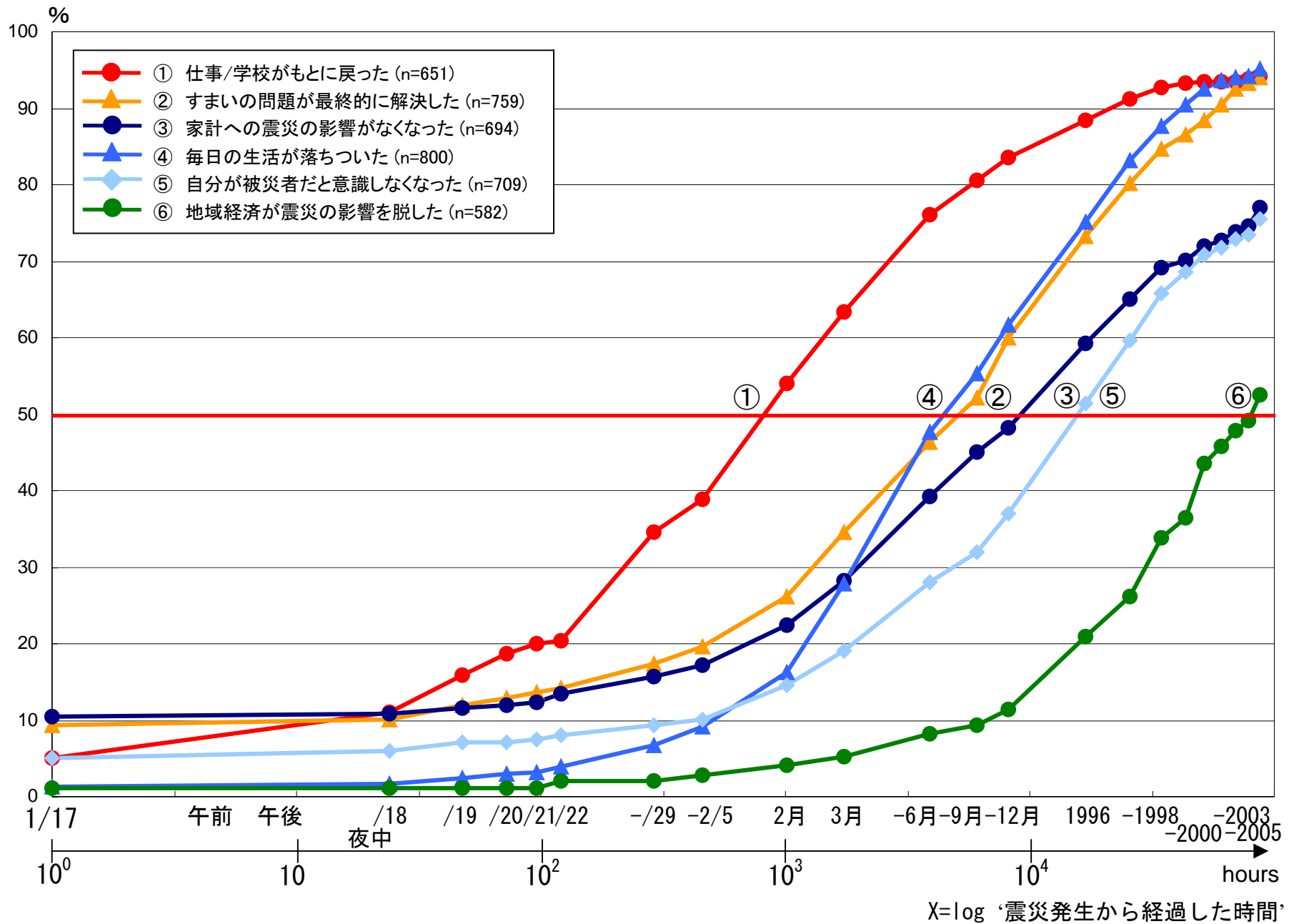
- 以下のことが震災後いつ起きたのかを尋ねる
  - 時間を対数軸でとる(心理的な時間の流れ)
- 
- 仕事/学校がもとに戻った (n=651)
  - ▲— すまいの問題が最終的に解決した (n=759)
  - 家計への震災の影響がなくなった (n=694)
  - ▲— 毎日の生活が落ち着いた (n=800)
  - ◆— 自分が被災者だと意識しなくなった (n=709)
  - 地域経済が震災の影響を脱した (n=582)

# 復興カレンダー

問 32. 被災地の人たちがどのように復旧・復興するかは、ほとんど知られていません。あなたの気持ちや行動が、震災後、時間とともにどんな風に変化してきたのか、ふり返ってみてください。  
A～Fのそれぞれの問いについて、カレンダーの番号に○をつけてください。

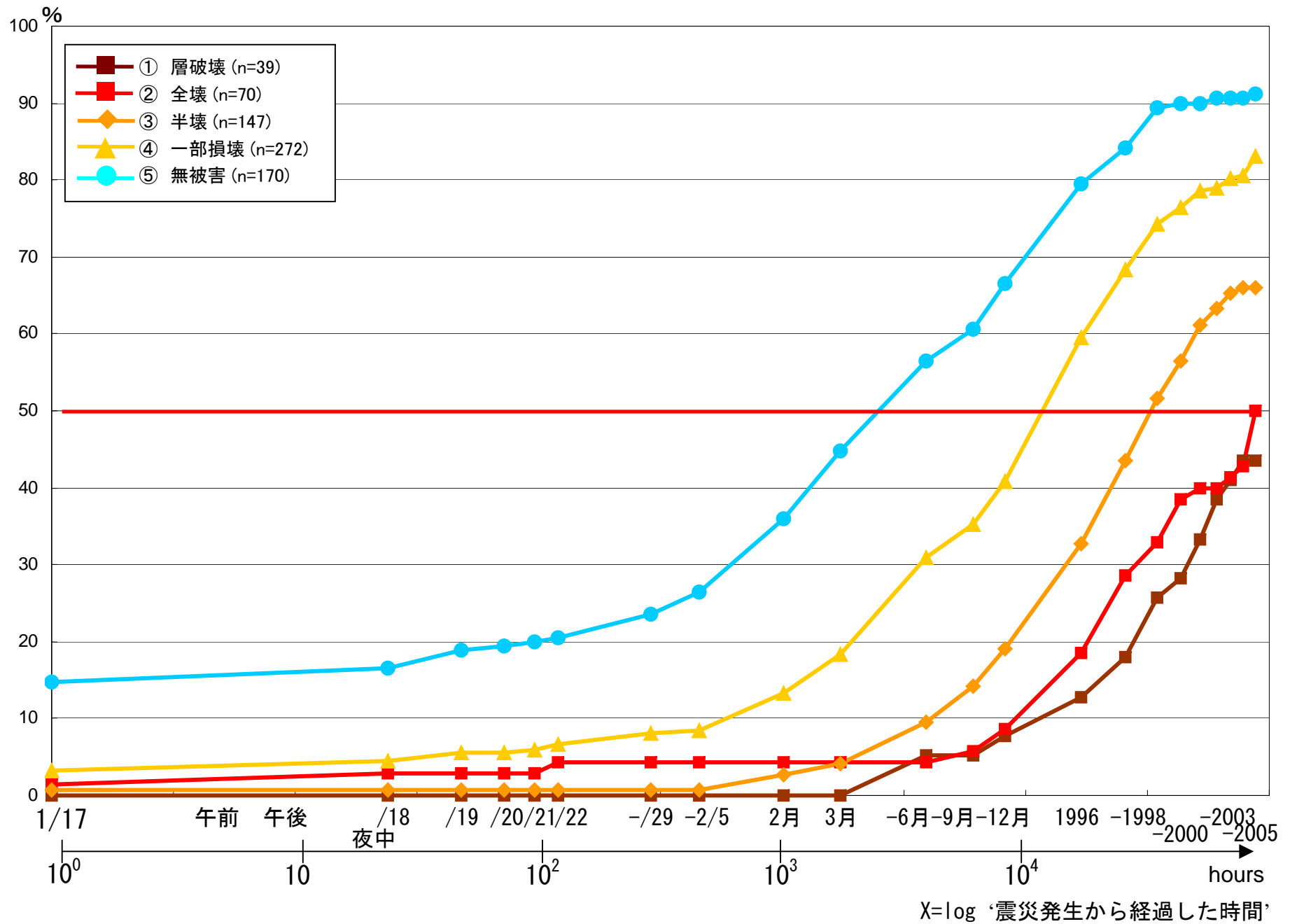
カレンダー：平成7年(1995年)1月17日～現在

月 日 曜日	できごと	A 仕事/学校が もとに戻った	B すまいの問題が 最終的に解決し た	C 家計への 震災の影響が なくなった	D 毎日の生活が 落ち着いた	E 自分が被災者た と意識しなく なった	F 地域経済が 震災の影響を 脱した
<b>平成7(1995)年</b>							
1月	17 火 震災当日	1. 1/17	1. 1/17	1. 1/17	1. 1/17	1. 1/17	1. 1/17
	18 水 震災翌日	2. 1/18	2. 1/18	2. 1/18	2. 1/18	2. 1/18	2. 1/18
	19 木 震災後3日	3. 1/19	3. 1/19	3. 1/19	3. 1/19	3. 1/19	3. 1/19
	20 金	4. 1/20	4. 1/20	4. 1/20	4. 1/20	4. 1/20	4. 1/20
	21 土	5. 1/21	5. 1/21	5. 1/21	5. 1/21	5. 1/21	5. 1/21
	22 日 震災以来最初の雨	6. 1/22	6. 1/22	6. 1/22	6. 1/22	6. 1/22	6. 1/22
	23～29 震災翌週	7. 1/23～1/29	7. 1/23～1/29	7. 1/23～1/29	7. 1/23～1/29	7. 1/23～1/29	7. 1/23～1/29
	30～2/5	8. 1/30～2/5	8. 1/30～2/5	8. 1/30～2/5	8. 1/30～2/5	8. 1/30～2/5	8. 1/30～2/5
	2月	9. 2月	9. 2月	9. 2月	9. 2月	9. 2月	9. 2月
	3月	10. 3月	10. 3月	10. 3月	10. 3月	10. 3月	10. 3月
	4月～6月	11. 4月～6月	11. 4月～6月	11. 4月～6月	11. 4月～6月	11. 4月～6月	11. 4月～6月
	7月～9月	12. 7月～9月	12. 7月～9月	12. 7月～9月	12. 7月～9月	12. 7月～9月	12. 7月～9月
	10月～12月	13. 10月～12月	13. 10月～12月	13. 10月～12月	13. 10月～12月	13. 10月～12月	13. 10月～12月
	平成8(1996)年	14. H8(1996)年	14. H8(1996)年	14. H8(1996)年	14. H8(1996)年	14. H8(1996)年	14. H8(1996)年
	平成9(1997)年	15. H9(1997)年	15. H9(1997)年	15. H9(1997)年	15. H9(1997)年	15. H9(1997)年	15. H9(1997)年
	平成10(1998)年	16. H10(1998)年	16. H10(1998)年	16. H10(1998)年	16. H10(1998)年	16. H10(1998)年	16. H10(1998)年
	平成11(1999)年	17. H11(1999)年	17. H11(1999)年	17. H11(1999)年	17. H11(1999)年	17. H11(1999)年	17. H11(1999)年
	平成12(2000)年	18. H12(2000)年	18. H12(2000)年	18. H12(2000)年	18. H12(2000)年	18. H12(2000)年	18. H12(2000)年
	平成13(2001)年	19. H13(2001)年	19. H13(2001)年	19. H13(2001)年	19. H13(2001)年	19. H13(2001)年	19. H13(2001)年
	平成14(2002)年	20. H14(2002)年	20. H14(2002)年	20. H14(2002)年	20. H14(2002)年	20. H14(2002)年	20. H14(2002)年
	平成15(2003)年	21. H15(2003)年	21. H15(2003)年	21. H15(2003)年	21. H15(2003)年	21. H15(2003)年	21. H15(2003)年
	平成16(2004)年～現在	22. H16年～現在	22. H16年～現在	22. H16年～現在	22. H16年～現在	22. H16年～現在	22. H16年～現在
	現在も戻っていない	23. 戻っていない	23. 解決していない	23. 残っている	23. 落ち着いたくない	23. 意識している	23. 脱していない
	覚えていない	24. 覚えていない	24. 覚えていない	24. 覚えていない	24. 覚えていない	24. 覚えていない	24. 覚えていない

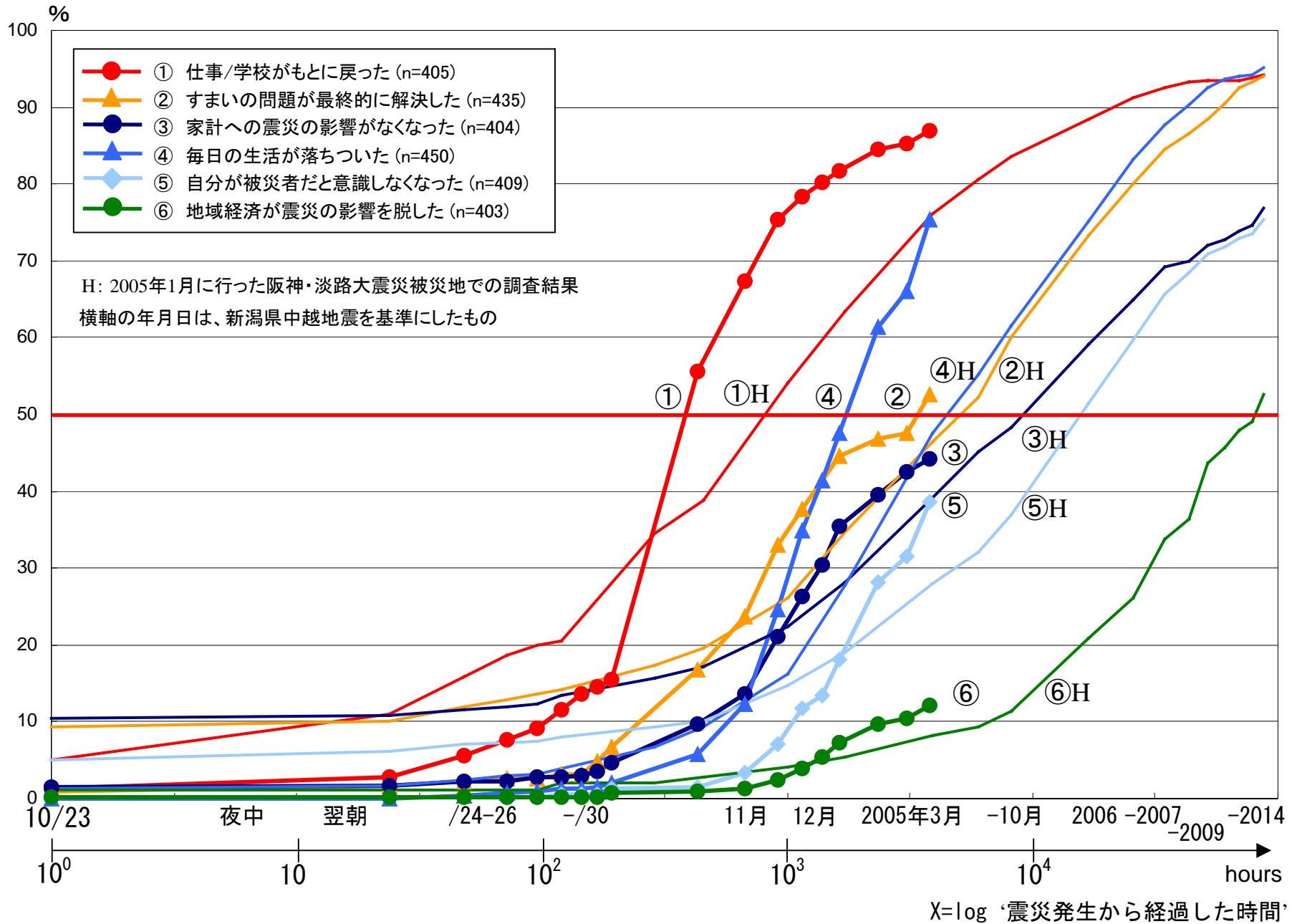


復興カレンダー (05阪神)





図：生活復興カレンダー05阪神（自分が被災者だと意識しなくなった）



復興カレンダー 新潟県中越地震(太字)と阪神・淡路大震災(細字)の比較

---

## 結論・今後の展開

---

- 復旧期以降における施策立案の基礎資料として、自治体を中核とする災害対応従事者には有用である
- 同じ災害における指標の妥当性・安定性は確認。今後は、別の災害への指標の適用によって指標の一般性を確認していく

おわり